大正十四年十二月一日發行（毎月一回一日發行）

満洲之社會改題

社會研究

第四巻第四號

乙丑拾貳月號

重要目次

歳末の社會相……劈頭言

田園都市……

社會發見と社會の本質……深作安文

形進心退の現代社會……山田芙峰

我國の政黨と社會政策……松臺居士

獨逸の公立貯蓄金庫……囑託記者

市の社會事業計畫……高橋月南

奉天附屬地の住宅問題……田原漠東

ロシア國の消費組合……富士辰馬

雪齋の國家觀と社會觀……小川運平

別天地の社會……白木秀刀

暴力取締……

満洲社會事業研究會

社會研究＝第四巻第四號（大正十四年十二月發行）

劈頭言＝歳末の社會……（一）
形進心退の現代社會……山田芙峰（二）
田園都市……（八）
社會の發見と社會の本質……深作安文（一〇）
我國の都市住宅問題（二）……池内宏（一五）
歐米の社會事業を視て（十）……藤田倶治郎（二二）
我國の政黨と社會政策……松臺居士（二五）
雪齋の國家觀と社會觀……小川運平（二九）
露國の經濟探偵規定……（三一）
區長問題……（三二）
ロシアの消費組合……富士辰馬（三四）

ドイツに於ける公立貯蓄金庫……囑託記者（三六）
北米ロ市の少年團と交通調査……（四〇）
それに從事する少年は平均十七歳である
臺北市の公營質屋……（四三）
大連市の社會事業計畫……高橋月南（四四）
奉天附屬地の住宅問題……田原漠東（四八）
社會問題彙報……（五四）
□謂ゆる細民なるものゝ程度　□大連に在る滿鐵の公園改造　□惡三百と惡代書業者の取締
□サラリーマンユニオン組織　□略終了した滿鐵の生計調査　□養老年金保險制の創設計畫
□大連職業紹介所の移轉新築　□男に成りたいと云ふ女學生　□生産と販賣機關の共同經營
□謬まれる育兒法の好個適例　□滅切り殖へた大連の犯罪數
暴力取締……（六〇）
隱くれた尊い力……（六二）
別天地の社會……白木秀刀（六三）
十四年も暮れる……ひでとう（七三）
研究會の趣旨及綱領……（七四）

一、資本金參千萬圓

一、一般銀行業務並ニ大連市金庫事務ヲ取扱申候

大連市伊勢町六十九番地

株式會社 滿洲銀行

電話四一二一番

振替貯金大連二二〇番

支店所在地

大連市山縣通、同小崗子、沙河口

金州、普蘭店、貔子窩、瓦房店、鞍山、奉天、

奉天小西關、撫順、本溪湖、安東縣、安東縣

興隆街、新義州、鐵嶺、公主嶺、長春、吉林

右ノ外內地、朝鮮、滿洲各樞要ノ地ニ爲替取引先有之候

火災　海上　運送

保險

明治火災保險株式會社　千代田火災保險株式會社

東京火災保險株式會社　東京海上火災保險株式會社

日本火災保險株式會社　神戸海上運送火災保險株式會社

共同火災保險株式會社　大阪海上火災保險株式會社

横濱火災海上保險株式會社　大正海上火災保險株式會社

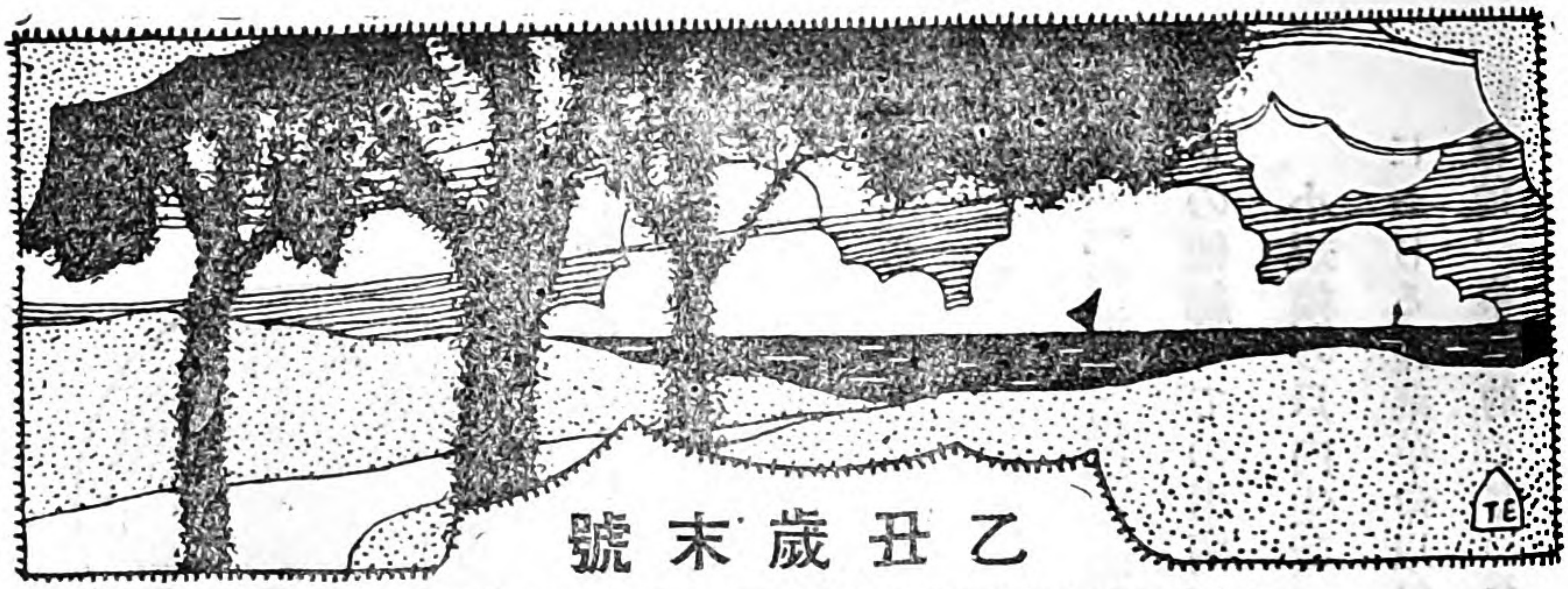
代理店

三井物產株式會社

大連支店

大連市山縣通一八二號地

電話　代表番號七一〇一番



歳末の社會

現代の社會、殊に都市の社會は、何事も慌だしく、苛々しく、性急的將た拙速的となれり。都市人の心が概して焦燥的なるは毫も怪むに足らざる也。この慌だしき、苛々しき、性急的將た拙速的なる社會的現象は、歳末に至りて最も甚だしきを覺ゆ。況や猶ほ不況の深刻骨を刺すが如き今日、窮苦に泣くもの、貧困に悩むもの、是等の社會的敗殘者がいかに此の年の瀬を越さんかと喘ぎ悶ゆるその心事は察するに餘りあり。斯くしてこの歳末の社會は、その人心の焦燥と共に、際立つて匆々忙々の光景を現出す。

歳末のこの光景を目睹して、その社會的心理を討究し、社會の單位たる個人間に共通する悩み、苦み、悶え等を見極むるも、また一種の研究たらずんばあらず。歳末を過去一年間の總決算期とせば、その約一箇月間に現はるゝ社會の匆忙は、社會の單位たり成員たる個人の共有する何物かの總和たり、同時に、社會的心理の一表現たらざるべからず。此の折に夜逃、失踪、放火等の不祥事がヨリ多く現はるゝあらば、その年の社會の如何に息苦しかりしかを察すべく、匆忙の裏に悲むべき消息の潜めるを知らむ。

都市の社會に於て、殊に罪惡不倫の多き所以のものは何ぞや、と自問自答せし後、この歳末の社會の匆忙中に潜める裏面の消息如何を討檢せよ。慌だしく、苛々しく、性急的將た拙速的なる現代社會の由つて來れる所を稽ふると共に、その一縮圖たる歳末の社會を靜觀するとき、そこに吾等は必らず何等かの眞理を發見せむ。表面の事象を看て裏面の消息を知ると云ふことは、何事にも必要なる事柄なれど、社會の研究、社會問題の討究には、その觀察力を最も鋭くして社會苦と社會病の淵源を尋ねざる可らず。

形進心退の現代社會

山田芙峰

『慈善事業といつた時代の社會事業は、その經營の方法が非科學的で、規模も至つて狹小なものが多かつたが、その割合に個人的の感化力は極めて顯著なものであつて、精神においては優れてゐた。然るに現代の社會事業は大規模となり、その經營方法は科學的で、これを昔時に比すれば外形において著大なる進歩を見るに至つたが、活ける生命と感化の力は弱くなつた樣に思はれる』とは、山室軍平氏の意見である。我國當代の社會事業家として名聲嘖々たる留岡幸助氏も同樣のことを述べられたやうに記憶する。『形進心退』は物質文明社會を通じての病患であつて、獨り社會事業と限らず、宗教でも、教育でもその他總べての事柄が『形進心退』の傾向を示してゐる。

小規模の戸内生産が大規模の工場生産となり、分散的小量生産が集中的大量生産となつたのは、英國における産業革命以後のことで、それは申す迄もなく科學の力が根柢だ。斯くして經濟界は科學的、組織的、事務的となつたのであるが、消費生活もそれに伴れて科學的、組織的となり、ロシアには到る處

コーペラチーヴが設けられて居り、如何なる國土にも今日は消費組合、購買組合の設けられて居らぬ處はない。生産と消費の仲間に介在して双方の橋渡しをする商業にもデパートメント・ストアーや連鎖商店と言はるゝチエーン・ストアーが出來るといふ状態で、その營業が科學的となり、それと同時に、組織的共同的、集團的とならうとして居る。啻に經濟界のみならず、政治界の如きも、憲章を定め、法律を作り、議會を設け、政黨を樹てゝ組織的、共同的、集團的に行ふことゝなり、プロレタリアの獨裁政治をやつて居る現ロシアのソヴイエツト制度の如きも、經濟方面は無論のこと、政治方面も極めて組織的になつてゐる。斯うした時代の大勢から稽えてみると、社會事業が科學的、組織的、事務的となつて來たのは當然であつて、此間少しも疑義を挾むべき餘地はないのだ。

併しながら、一利あれば一害ありで、そこに科學的物質文明の弊があり、謂ゆる『形進心退』の缺陷を生じ、何事も物質的に優りて精神的に劣るといふ傾向が現はれて來る。經濟事業の如きも、餘りに科學的、組織的、事務的となり、更に營利主義に馳せて公益を無視するに至れば、利己心の旺盛と共に人間味が薄くなり、種々の悶着や紛擾や騷動が多くなつて來る。産業界における今日の勞資爭鬪は『形進心退』の結果から起るものに外ならぬ。況や精神を主とし物質を從とすべき宗敎、敎育及び社會事業の多くが滔々相率ひてこの渦中に捲込まれ、制度や形式や規則を重んじて、何でも大規模に大袈裟にやらうとすると、大切な人格といふことが輕んぜられ、その感化力も亦弱まつて來る。神と自然と天を對象と

して靈の淨化に努むべき宗教が伽藍や殿堂を壯美にし、制度や形式の末に囚はれると、その權威が衰えると同樣、教育も餘りに制度化し規則化し組織化すると、その難有味が薄くなる。今日の教育が智育偏重であるのは、組織的、制度的、事務的にその規模が大きくなるに從つて、人格とその感化力とが弱くなつたからだ。明治初年における福澤諭吉の慶應義塾、中村敬宇の攻玉社、新島襄の同志社の如き人格本位の教育はモハヤ見たくとも見られない。杉浦重剛の稱好義塾も當の天台道士が逝いてから其の魂が失はれた樣に思はれる。昔のやうな寺子屋式教育が現代に通用せぬのは勿論であるが、人格を本位とすべき教育が單に智識の傳達場となり、精神を主とすべき宗教や社會事業までが人格的感化力を失ふに至つては、本來の面目を汚すの甚だしきものと謂はざるを得ない。

社會問題、社會政策、社會事業に造詣の深い前內務省社會局長田子一民氏はその著『社會事業』のうちに斯んなことを述べてゐる。『貨幣と株式會社、これこそ現代の貧富の懸隔を大ならしめる重大なる原動力である。今や貨幣經濟は益々富の集中を行つてゐる。富んで苦しむ者のある一面には貧しくして苦しむ群もある。この一群こそ社會事業の要求者である』と斯う言つた後、更に『ボサンタウエは嘗て英國における寺院中心の慈善事業を評して水撒き慈善と評した。今日の社會事業は消極的原因として右に述べたやうな理由も勿論存するが、更に重大なる積極的原因としては、現代社會を總ての人々にヨリ住み心地好き社會たらしめ、系統あり、秩序あり、脈絡ある社會たらしめ樣とする理想が各人の胸中に閃め

き動いて來たからである。私たちは求報主義や政略主義や水撒き式の社會事業には甘んじられない』と言つた。全くその通りで、そこに現代の社會事業が大規模に組織と系統を立て丶科學的、事務的に經營せねばならぬ理由が存するのであるが、之がために人格的感化力が弱まり、數ある社會事業の中から時折忌はしき問題を惹き起すやうになつたのは、眞に憂ふべきことだ。

救世軍は軍隊組織に倣つて組織的大規模に而も世界的にその事業を進めてゐるが、ブース大將の人格力はその繼承者によつて保たれて居り、それにキリスト教を中心として居るので、人格的感化力は弱まつて居ない。東京府下西巣鴨町の家庭學校を中樞として種々の社會事業を行つてゐる留岡幸助氏のそれも、氏の人格力とキリスト教の感化力とで、他の怪しげな社會事業とは自から異なつたところの光りを放つてゐる。他にも此類の社會事業がないわけではあるまい。如何に科學的、組織的、事務的にその規模を大きくしても、中心人物にしつかりした者が居れば、その人の人格力によつて幾何か『形進心退』の弊を免れ得るであらうと思はれる。だが概して當今の社會事業は、科學的、組織的、事務的となつた結果、外觀の進歩した割合に內容は却つて退歩した傾きがある。

この外に榮えて內に衰ふといふ謂ゆる『形進心退』の傾向なるものは、科學的物質文明の齎らした一果實で、支えがたき大勢ではあるが、特殊の國體を有する我が帝國にとりては大いに愼戒を要する點がある。何となれば、我が帝國は萬世一系の皇位を中樞として皇室と臣民との關係が情義的、神秘的、大乘

的になつて居るから、政治、經濟、社會の萬事萬般が血族關係より契約關係に移り、從屬關係より對等關係に入り、さうして科學的、組織的、主智的、法律的、事務的となると、此の何よりも一番大切な世界無比の我が國體に傷をつける虞れがあるからだ。封建制度が滅びてその制度の下における主從關係が無くなつたのは當然だ。商店の年期奉公制度が失はれてそれが給料的店員制度となつたのも當然だ。情味中心であつた家主對店子の家屋貸借關係が家賃を主とする契約關係になつたのも時の勢ひだ。師弟といふ情味關係であつた寺子屋式敎育が亡びたのも怪むべき事でない。併しながら、萬事萬般がさう云ふ風になると、情義とが、道德とか、意氣とか、靈感とか云ふ人間にとつて最も尊ぶべき精神方面のことが怪しくなり、その顯はれが鈍くなるのは、當然回避しがたき勢ひであつて、それが我が國體にまでも影響する樣になつては、それこそ一大事である。謂ふところの『形進心退』が斯くの如くその勢ひを擴大して來ると、文明はこゝに逆轉し、或はその滅亡期となるかも知れぬ。

英國勞働黨内閣の商務大臣であつた碩學シドニー・ウェッブ博士は最近『資本主義文明の凋落』と云ふ一書を著はした。現代文明はこれを科學的物質文明と稱すると共に資本主義文明と稱することも出來やう。服從主義で上と下とを縦に繋いでゐた封建時代には、種々の不自由があり、奴隷思想が起り、厭制主義も生まれたが、食祿によつて其の生活を保全された武士階級は勿論、士に親める農民も、銖錙の輸贏を爭ふ商民も、その生活は概して自由で且不安が少なかつた、さうして其の間には麗はしい人間味の

閃めきがあつた。然るに科學的物質文明、資本主義文明の社會となつた今日は、何事も契約關係、對等關係となり、斯くして科學的、主智的、組織的、統制的となると共に、自由競爭とそれに伴ふ弱肉强食の結果、一般の生活が非常に不安となり、その生活不安のために彝倫も、道德も、情義も、節操も顧みられず、浮華輕佻の陋俗と利己的爭鬪や小我的悶着が多くなつた。文明凋落の聲が起り、一方に神に還れ、カントに還れ、釋迦に還れ、孔孟に還れ、フイヒテに還れとの叫びが年と共に高まつて來るのも當然だ。精神と人格を主とすべき宗敎や敎育や社會事業までが科學的、主智的、打算的になつて來たのはこの大勢の上からいへば、寔に已むを得ない事ではあるが、斯くして社會が獨逸語の謂ゆるゲマインシヤフト的よりゲゼルシヤフト的となるのは、眞に憂ふべき兆候だ。

我國の現代社會には『形進心退』の傾向が何事にも强く濃厚に現はれてゐる。それはヨウロツパやアメリカの科學文明を外面的に模倣した故でもあり、自個の國體、民性、歷史、國粹を認めてそれに他の優れた文化を適應せしむると云ふ眞の採長補短が滿足に行はれなかつた故でもあるが、法律萬能の法治主義も亦この弊を助長した一ツである。法律式、形式的、規則的の社會となつては、法律のために道德が傷けられ、人間が冷かになつて温かい人間味が失はれるのも當然だ。宗敎や敎育や社會事業がこの時弊の渦中に捲き込まれるのは洵に悲むべきことで、是等の精神的事業はこの時弊と鬪ひ、この時流に逆行し、さうして此の惡傾向を打破しなくてはならぬのである。

田園都市

◆人口の都市集中は時代潮流の然らしむる所であつて區々の人爲策で之を防ぎ止めることは出來ぬ◆併しながら都市にのみ人口が集まると云ふことは都市そのもの丶ために悪い結果を招くのみならず地方農村を衰頽せしめ文化を片寄らしめ又その文化を畸型的にする◆そこで政黨なども今日は人口の地方分散や農村の文化興隆を政綱の中に加へる様になつたが人口の都市集中を時代潮流のまゝに放任して置くと都市はこれが爲めに益々悪化する◆都市が罪悪不倫の巷となり種々の都市病や社會病を發生するのは人口の都市集中を放任して何等の調節策をも講ぜぬからだ◆都市人には概して土に親む心がない隨つて郷土的觀念がないと云ふのは都市生活が人口集中と共に枝葉的にのみ繁茂して根底が堅くないからだ◆都市人の多くは都市社會の混亂と動搖によりて常にその生活に不安を感じて居るので落付きがなく當座凌ぎの腰掛主義にもなるのである◆都市人に自治心が薄いのも愛土心と郷土的觀念の缺乏より來れるもので自由都市から發達した歐洲の都市とはその建設的由來を異にする日本の都市は都市人をして一層愛土心と自治心を薄弱ならしめる◆殊に植民地の新都市は各地方人の寄合世帶であつて他の異なつた民族とも雜居し而かも都市生活に對する社會的施設が滿足でないため都市人の生活を一段と不安ならしめ同時に都市人の心を荒廢し易い◆そこで都市人に愛土心と郷土的觀念を養成せしむることが今日の都市には必須缺く可らざる最も重要なる事項となつて來た◆然らばその方法はと云ふと中央市場、公設市場、公營質屋、或はまた消費組合、簡易食堂などいふ種々の社會施設をなすは勿論のこと◆更に進んで民衆教育機關、民衆娯樂機關、其他の精神的方面に關する社會施設をもなさねばならぬ◆然るに今日の都市生活中最も金を喰ふものは住宅で衣食費よりも住宅費の方が割合に多くを要すると云ふのが現に何人も經驗してゐる事實であるから住宅問題の解決が何よりも先づ第一の急務である◆本誌はこゝに鑑みる所あり東京の山方囑託を煩はし都市の住宅問題に最も造詣の深い池田宏氏の『都市住宅問題』を掲げることにしたのだ◆住宅組合は都市住宅問題解決の一策でこの事の必要はまだ我國に住宅組合法の公布實施されない大正八年に獨逸のビルデイング、ソサイチーに則つて不敏ながら本文の記者が卒先して唱說した所である◆大正十一年十一月に至つてこの關東州にも住宅組

合法が實施され滿鐵社員の共營住宅組合やその他の住宅組合が出來るやうになつた◆處が單にこれのみでは都市生活中最も急を要する住宅問題の解決は出來ない都市人の生活を安定せしめて自治心と愛土心と鄕土的觀念を養成するためには『田園都市』の建設がなかんづく殊に必要なのである◆本會の評議員村田懿麿氏は邦人の永住的生活に關する意見を雜誌『新天地』に掲げたが滿洲の如き植民地都市にはそれが最も必要である◆『田園都市』の模範は英國が一九〇三年に倫敦の西北三十四哩の郊外レッチウオートに共助會社の事業として建てたそれである◆共助會社は公益を主とする團體で資本に對する利益配當を百分五に限定しそれ以上の利益は總べて住民の公益に捧げるのであるから營利的土地會社のやうに粗惡な住宅を密集的に建設して家賃を貪るやうな事はしない◆住宅と住宅との間には出來るだけ間隙をおき繞らすに庭園を以てし一エーカーの地積に對する家屋數の最大限度を十二とし◆それから學校、倶樂部、遊園を設くるのみならず家畜や果樹や野菜の園藝場を設けて之を共同的に營みその剩れるものは市場に提供して都市生活の補ひとするのである◆我が大阪市の郊外にはその郊外住居者の有志によつて家畜、果樹、野菜などの共同農園を設けた所もあるが我が日本にはまだ眞の『田園都市』なるものは作られて居ない◆大連の老虎灘街道に沿ふた郊外住宅や聖德街の住宅などは此の『田園都市』とは似ても似つかぬもので潭家屯方面における市營住宅の如きも『田園都市』の先驅とはならぬのである◆大連市には郊外に幾らでも土地があり旅順市や金州は『田園都市』建設には持つて來いの土地柄であるから關東廳はその土地政策を改めて先づ州内に『田園都市』を建設せしむるやうに努めて貰ひたい◆英國の共助會社の如き公益團體を起すも可なり市の手でやるも可なり又は特別の組合を作つて模範的試驗的にやらして見るのも可からう◆斯うした社會的都市施設が出來ると人口の都市集中を緩和しその放任より生ずる都市病や社會病を減退せしめその『田園都市』居住者は生活の安定を得て自治心も共同心も愛土心も起らうと云ふものだ◆口の先で永住せよ土着せよと言つたところで永住土着的の方法を講じないでは滿洲の吾々日本人がシッカリと根を土に据えた生活の出來やう筈なく隨つて浮動的腰掛的となり易い◆浮ッ調子の都市生活からは堅實な人も質實な家庭も生まれないさうして其の社會は住み心地の好くない人類惡化の穢土火宅となる計りだ。



社會の發見と社會の本質

文學博士 深作安文

(一)

今世紀に於ける大なる發見としては、科學的方面に於ては先づアインシュタインの相對性原理を推さねばならぬが、之と相對しては他に社會の發見を大なるものとして擧げることが出來る。前者ほアインシュタイン一個人の發見で、他人は之が發見に關して與るところ無かつたのに反して、後者は現代文化人の總てが齊しく發見したる總括的のものである。歐米諸國に於ては勿論、日本に於ても近年は社會事業、社會政策、社會問題の研究、社會改造等の文學や言語が使用せられ是等の施設も、實行も、論議も年と共に進み、現に政府にも社會局なるものが設けられ、教化方面に於ては特に社會教育の實施に着手し、各府縣には之が主事が置かれてあると云ふ實況である。

日本人も斯くの如く各國文化人と同樣に社會を發見したことは事實なるも、果して然らば眞に社會そのものを發見し得たか何うかと言へば頗る疑ひなきを得ない、否、多くは未だその核心を摑んで居ないことを遺憾ながら斷言しなければならぬ。それは日夜絶えず暴露される社會の諸事相に依つて極めて明瞭に實證することが出來る。試みに最近の一例を擧ぐれば、一萬圓貯金王と稱せられたる某を主謀者として、多年繼續せられたる不正事件が發覺して問題となりたる以後の實

狀の如き、卽ち之が適例である。某の行爲には未だ國法上の斷定は下されて居ないが、然しその實際の行爲と又その行爲の憎むべきことゝは、世人の齊しく認めて許さゞる所である。殊にこの某なるものが曾て衆議院議員の職に在り、今回更に多額納稅議員を爭ふて當選したる者なるに於て、之を咎めざる者は世上恐らく一人もあるまいと思ふ。然るに斯かる不德漢でも選擧に當選したるの故を以て、之を勅選議員に推薦しなければならなかつたと云ふことは、如何に現行法律が不備にして、且法律なるものが殆んど機械的の道具に過ぎないことを證示して餘りあるべく、同時に我國の法律が未だ眞に社會を發見して居ないことが立證されるのである。更に某が日本人としての社會の發見は、たゞ自已を全的に見、他人を無視したる利己的のもので、隨つて少しも社會を發見せず、無論文化人としての徹底的發見ではないのである。この他にも之れが類似のものとして擧ぐべき事例は數多あるが、要するに社會の制裁、輿論の指彈を受けざる可らざる背德者にして恬として愧ぢざる者が尠くないことは、實に現代の一大恨事ではあるまい乎。此等は明かに未だ社會的觀念の徹底せざる證據であつて世人の社會發見卽ちその社會觀が皮相を免れざることを物語るものである。

（二）

然らば社會とは何ぞや。抑も社會とは世上一般に使用されて居る文字であり、言語であつて、意義明白なやうであるが之を學問的に檢討して見る時は、決して爾く簡單無造作に取扱ふわけには行かない。米國の一社會學者はその著書の中に「今日の社會はコロンバスを俟ちつゝある」と說いて居るが、その意は往年コロムブスが新大陸を發見したるが如く、現代は學術上の新發見家としてのコロムブスを出し、以て社會上の諸問題を研究解決しなければならぬ時代だといふ趣旨に外なるまいと思ふ。斯くの如く世界各國の學者は孰れも社會研究に意を注いで居るが我輩は本題研究の前提として先づ社會は實在するものなりとの斷定を下して置きたい。之を立證すべき一例としては、個人としては甚だ弱い個性の所有者たる

人々も一旦變じて社會人となると非常に强い人となる、換言すれば、個人としては弱いが多數集合する時は反對に强者と爲ることを擧げたい。更に一人の黄金萬能者があり、家庭人としては驚くべきほど金錢に汚ないが、一歩外へ踏み出して社會人となると、その態度一變して種々の社會事業に對し巨額の寄附をも吝まぬ人となることを擧げたい。卽ち個人も社會の一員として取込まれると全然反對の觀念や行爲を實現するに至るものである。右によつて觀ても、社會が顯然たる實在であつて個人を支配するが爲めに出來た一大勢力機關たることを知るに足らう。

社會が概念でなく實在であることは右に依つて瞭かであるが、次に起る問題は、その實在たる社會の眞相は何であるかと云ふ討究であらねばならぬ。一言にして之を盡せば社會とは則ち多くの個人に依つて作られた集團である。詳言すれば從前存在しなかつた若しくは存在しても極めて不明瞭であつた新たなる精神が構成せられ、その新精神の構成と共に新たなる人的關係を生じ、之を以て衆個人を支配する所の集團が則ち社會である。上述の如く個人として弱い者が社會人としては强くなるのも、個人としての守錢奴が社會人としては公共事業に盡す篤志家となるのも、畢竟するに社會が社會として新たに生じたる精神力の作用と人的關係とが支配する所の結果に外ならぬのである。

或る意味の社會は現に他の動物の中にも存立して居る。蜜蜂、蟻、鰯、雁、鴨、猿、象等の如き群棲動物の生活はヤハリ一種の社會生活である。併し此等動物の社會と人類の社會とは全然同一ではない。動物の群棲は意識的に行はれるものではなく群棲本能に基く無意識的の作用である。之に反して人類の生活は社會的本能と社交性に發して一定の目的を有する意識的社會である。その間には彼れ是れ著しい差異があるが然し又兩者の間にも一點相通する同一現象が無いでもないそれは何れの社會生活にも其の社會に屬する者を保護すること卽ち種の保存を圖ることとの一事である。然れど此事あるが爲め人類の社會と他動物の社會とを同一視することの出來ぬことは勿論である。

社會は意識的に構成されたる實在であるから、そこに自ら共通の思想、共通の信念、共通の希望が發生する。然らば人

類が內面的に結合して社會が作られるとも言へる。從來の學者は多く社會を心理學的に觀なかつたが現今では殆ど總て心理學的に考察する樣になつた。之は正しい見方である。社會は斷じて空間的の接觸ではなく心理學的に結合して居る。是に於てか、社會は數多の精神の結合とも言ひ得られ、社會生活は廣義に於ける精神生活の一とも言ひ得るのである。從つて個人を社會化するには心理學的方法を以てしなくてはならぬ。物理學的に無理に引入れようとしても個人の社會化は不可能である。此點は軍隊生活、學生の寄宿舍生活等に於て大いに注意を要する所で、同時に此等の生活によつて其の理を證明することも出來る。兎に角眞に社會の實相を捉へんと欲るには個人の計數を見るだけでは十分でない。個人群卽ち社會であると云つて數量的に打算するのみでは可けない、個人の精神力を稽査しなければならぬ。則ち社會を構成する要素を量的に見るのでなく質的に見ることに依つて初めて其の眞價が知られると思ふ。

(三)

社會は衆個人に依つて構成されたものであるが、社會に包含された人々の單なる總和ではなく、それ以上のものである社會心も亦單なる個人心の總和ではなくそれ以上のものである。個人の心は經驗の主體であつて吾人は日夜種々な經驗をする。或は一つの經驗が相合することもあり、或はそれが全く相反することもあり、一つの經驗が他の經驗を結果することもあり、或は他を矯正し、他に擴張することもある。斯くて吾人の腦裡に多くの經驗が積まれてそれが謂ゆる精神的貯蓄となる。之が則ち心である。此の心が基となつて更に經驗を整へ、又內容を豐富にし、遂に一定の型となつて個人心を構成し、之れが意志に固まり、更に思索となつて益々發達するのである。

然るに二つの個人心が接觸する時には、一が他を感化し、他と共鳴し、又は互に類似し、或は一致することに依つて其處に心の交通が行はれる。衆個人の心が同一運命の下に同一場所に於て同一の經驗を爲す時にも、恰も二人の時と同樣に

感化、交換、共鳴、類似、一致等の心の交通が行はれ、同時に總ての事柄を同一に分配し、さうして利害禍福を等分に受けることになる。是に於て社會の精神的貯蓄が出來、斯くて社會心が構成されるのである。要するに社會心は共同目的を有する多數人が精神的に結合して作らるゝもので、客觀性のものであるが、偉大なる活動力を有し權威を備へて居る。此の事は輿論の力が如何に强大であるかの點に想ひ到れば何人と雖も其の理を肯定し得るであらうと思ふ。輿論は社會的に重大なる事件に對し社會心が價値判斷を下したものである。社會心は個人心の時に働き得なかつた力が新たなる力と爲つて强く廣く且徹底的に働くのである。三人寄れば文珠の智慧と云ふ諺は最も好く社會心の實相を説明して居ると思ふ。一人では解決の出來ぬ事件でも三人寄れば一新勢力となつて之を解決し得るのである。個人心を去つた外に社會心が他に特別に在るのではないが社會心が個人心の總和以上の大なる作用を有することは瞭かである。

(四)

人は社會の一員として社會心を意識的に分擔するの義務を有して居る。換言すれば社會人は意識的に社會心を理解したる社會的强者でなければならぬ。其の人の善が其のまゝ社會善となり、その人の生命が社會生命となる時は、其の人は眞の社會人である。肉體は限定的であるが精神は普遍的である。個人は空間的に一定の空間を占有して居り、思想の中心行動の中、心は互に異つて居る。これ等の人々が生きんとする態度は個人心に依つて定まるのであるがそれが利己主義に走る場合には社會人としての態度が全く失はれて了ふ。然も個人は何等かの意味に於て社會を離れて生活することの出來ぬものであるから、社會の事相を見る時には、何人にも總て普遍的な側面を多少有して居るが、唯之を意識しないか又は發達させ樣としないのみである。隨つて社會人を建設するに付いては彼等が有する普遍性を別の方面へ展開せしむべき暗示を要する。則ち之を彼等に意識せしむるの途が開かれねばならぬ。別言すれば彼等を醇化せしめなければならぬ。個人心

の普遍を覺知せしめて自己の中に社會を見出さしめなければならぬ。

日本人の社會は是まで外面的社會であつたが、それは眞の社會でなく、社會人の社會は自己の中に存在するものでなければならぬ。それが眞の社會である。外的發見ではなく內的發見である。個人心の最も向上したるものは人格心であるが人格の內容は智識、道德、趣味、信念、思索等種々に分解される。之れは多くの經驗に依つて知り得らるゝ所である。然れば社會人は又人格人なりとも言ひ得る。隨つて社會人を建設するに當つては、個人を醇化して人格的に目醒めしめ、個人心を人格心に展開せしめ、個人を全體の中の一部分として活動せしめることが最も肝要である。近時我國に於ても輿論の力が可なり強くなつて來たが、今後は世人が能く社會心を理解して輿論の構成を健全ならしめ、且社會人として眞實の社會を發見し、研究し、建設することに努力されんことを切望せざるを得ない。

我國の都市住宅問題（二）

池田宏

五、實算上より觀た住宅問題

住宅の質の問題を捉へて我國の住宅問題を觀察したなら如何であるかと言へば、注意しなければならぬ事は一人當の疊數が非常に少な過ぎることで、殊に大都市においてその比率が甚だしいことは戰慄すべき程である。大都市の空氣は人口の過度の密集と工業の爲めに煤塵量が非常に多く、混濁を極めて居つて頗る衞生に適しないのに、其のうへ大都市におい

て一人當りの疊數が少なきに失して居ることは極めて憂慮すべき問題である。曾て六大都市に於ける非衛生住宅地區の情態を調べたことがある。例へば東京で言へば深川の猿江とか、大阪で言へば釜ヶ崎とか、京都で言へば柳原とか、神戸で言へば新川部落とか、横濱で言へば淺間町とか、名古屋ならば水車町と云ふやうな處を調べたのであるが、當時の調査に依れば、此等の地區に於ける建物の棟數は五千六十八棟で、その建築坪數十二萬二千六百七十四坪に對して六萬九千五百六十八人住居して居つた。則ち之は一人當り一坪七合六勺となるのである。建坪は同時に疊數に相當することは普通の事例であるが、此等の地區に在りては緣側もなければ臺所もなく、又押入なども無いのが通常である。故に一人當りの建坪が僅に二坪にも足らぬと云ふことは過小に失することゝ考へられる。若し東京市だけの例に就いて見れば、大正十一年に於ける此等地區の實例は、一人當りの疊數が三人世帶四分、四人世帶一疊一分、五人世帶九分、六人世帶八分、七人世帶七分、八人世帶八分、平均一疊で、家族數を增すに隨つて大體減少する傾きを有つて居る。また最近協調會の調査に依れば、月收五十圓までの者の一人當り疊數は、俸給生活者二疊八分、職工二疊四分、月收五十圓より百圓までの者に在りては俸給生活者三疊二分、職工二疊六分、月收百圓以上百五十圓位までの者に在りては、俸給生活者三疊七分、職工二疊半（以上東京の例）で、大阪、京都、名古屋、神戸、廣島の諸市でも大體二疊から三疊乃至四疊位の所を昇降して居るのを見るのであるが、大都市ほど共の一人當りの疊數が減じて居るのを示して居る事、同一都市に在りては殆ど規則正しく收入の少ない者ほど一人當りの疊數の少ない事を注意しなければならぬ。一都市に於ては收入の少ない者ほど割合に一人當りの疊數が少ないばかりでなく、更に宅地の坪數も、建築敷地と建築面積との比例も、空地の坪數も、建坪も、部屋の數も殆ど規則正しく少くして、その一室に於ける面積も少いと云ふことは默過することの出來ぬ重要問題である。之は獨り我國に於ける實狀たるに止まらずして全く世界共通の事象である。

之に反して收入に對する家賃の割合から觀ると收入の少い者ほど生活費中に住宅に要する費用が喰ひ込んで行く事實が

ある。則ち收入の少い者ほど割合に高い家賃を拂はなければならぬ事になつて居る。右は各地方においてそれ〴〵斷片的に住宅の調査を行つた結果によつて明かに現はれて居る事實で、先年大阪において調査された所も此の關係が極めて規則正しく現はれて居るし、最近東京府が管內に於ける住宅の調査を試みた時にも亦之を裏書するやうな統計表が發表されて居る。參考の爲め東京府の調査したものに就いて收入と家賃、宅地の坪數、空地の坪數、建坪、部屋數、疊數、一人當り疊數、宅地に對する空地の割合並びに收入に對する家賃の割合等を表示すれば

收入		六〇・〇〇圓	八〇・二〇	一〇〇・〇〇	一三〇・〇〇	一五〇・〇〇	二〇〇・〇〇	二五〇・〇〇	三〇〇・〇〇
家賃		一二・三七圓	一四・六五	一六・五二	一九・四七	二一・九九	二七・七九	三一・二二	三五・七一
宅地坪數		九・一三坪	一二・一〇	一四・六八	一八・九五	二一・五五	二七・五九	三七・四一	三八・一六
空地坪數		一・七五坪	三・三一	四・七一	七・七三	九・〇八	一三・九九	一四・九五	二二・一一
建坪		七・五八坪	九・六一	一〇・八五	一一・四一	一四・四五	一六・六一	一九・〇一	二一・七五
部屋數		二・一三室	二・五四	二・八三	三・一四	三・五四	四・〇二	四・三六	四・二一
疊數		八・〇七疊	一一・一六	一二・三三	一四・四〇	一六・〇七	一八・七六	二〇・八八	二二・〇〇
一人當疊數		二・二〇疊	二・八六	二・九〇	二・九五	三・三一	三・六五	三・八四	四・四〇
宅地に對する空地の割合		一九・一八割	二七・三六	三二・三七	四〇・三二	四二・一三	四七・〇八	四七・五四	五五・三二
收入に對する家賃の割合		二〇・八九割	二〇・〇八	一七・九五	一七・四一	一六・〇二	一五・九五	一三・七四	一一・九三

斯様な譯で、實に收入の少い者ほど割合に一人當りの坪數が少いのに反して、收入の少い者ほど收入の大部分を住宅費に捧げなければならぬと云ふ傾向のあることを明かに示して居る。

都市に於ける住宅に就いて以上の現象あることは、獨逸のシュワーベと云ふ統計學者が同國の都市に於ける住宅問題に

關する各種の統計を集めた時に發見したことで、この現象は殆ど諸國の都市に共通して居り、住宅問題に關する法則と言へるので、之をシュワーベの原則と稱して居る。此の法則は不幸にして我國に於ても適用されて居るのである。然るに謂ゆる細民階級になると、家賃は月拂によらないで日拂ひである關係から、此の法則の支配する所は更に强い響きとなることを注意しなければならぬ。則ち此の原則は無情にも貧乏線以下にある人々に對して愈々辛く當るのである。蓋し住宅に對する人々の欲望は衣食に對する欲望に比すれば强烈でない。吾人は餓ゑた時には食はずに居られないし、渇した時には飮まずに居られないし、又寒い時には衣服を着て溫を取らざるを得ないが、獨り住宅に對して有する吾人の欲望は斯の如く痛烈でなく、我慢すれば我慢が出來るものであるため、部屋は我が膝を容るれば足ると云ふ瘦我慢から、忍び得る丈けは忍ぶと云ふ事になる。狹い所で勉强することを如何にも大丈夫の心事であるが如くに解する向もある。元來吾人の住宅に對する欲望は小さいもので、謂ゆる文化的生活といふ樣なものはハイカラ黨の憧憬する所と見做され、生活の壓迫を免れる爲めには何を一番に節するかと言へば先づ第一に住宅費で節すると云ふことになる。若し家賃が高價で困るやうな場合には、或は平氣で人に部屋を貸して間貸の收入で家賃を補足し、或は自ら好んで間借生活に入るといふ有樣で、住宅に對する觀念が幼稚であるから、住宅問題は遂に衛生及び經濟問題より家庭生活の和平、男女の節操といふやうな道義人倫上の社會問題ともなるのであるが、都市に在つては特にそれが深刻に導かれるのである。

以上の數字と之れに伴ふ考察は東京府に於ける事實だけに止まらないで大阪市に於ても同樣である。其他の都市に於ても、都市の大小及びその發展の程度に依りて多少度合を異にするとは言へ、殆ど同樣の趨向を呈して居ることは、前揭の協調會その他の調査の上に歷然として顯はれて居るのである。大都市とても同樣に違ひない。此の現象は瑞西のやうな程度の國でも今日に在つては同一な傾向を示して居る。ベルリン市の調査に依れば、上層階級の者は一戸當り五十立方米の家を占め、中層階級の者は三十六立方米を占め、下層階級の者は二十五立方米を占めて居る。則ち收入の少ない者程小さ

[illegible]

い家に居るに反して彼等の支拂ふ家賃は高いのである。則ち上層階級の者は一立方米當り三法八十四三、中層階級の者は三法九三、下層階級の者は四法十四三を支拂つて居る。下層の者ほど一立方米當りの家賃が高くて生計費に住宅費が餘計に喰ひ込んで行くと云ふことが世界に於ける都市の通勢であるとを示して居る。繰返して言へば所謂シュワーベの原則は今や世界的現象となつて文明國の都市生活を支配して居るのである。また一面家屋の構造別の方から見ても、東京府の調査の結果に依ると、一戸建の家は一疊一圓四十五錢であるのに、四戸建の家は一疊當り一圓九錢になる。之れは建築の關係から起つて來る問題で、長屋の方の家賃は割合に安いと云ふことになる爲め、收入の少い者は一戸建の家屋に住めないで長屋生活に移る者が多くなると云ふ結果に歸するのである。然るに間借生活は長屋生活にまでも行はれざるを得ざる有樣となつて來て都市における人口の過密情況は一層酷くなり勝ちなのである。

我國の都市に於ける細民地區の住宅情況は、不完全極まる一部屋の家が非常に多いといふ事と、之れに住居する人口が多きに過ぐるといふ事で、此の二者は住宅問題として見逃すことの出來ない事實である。先年社會局で調べた所に依れば東京の細民窟は其の八割までが一部屋の家であつた。當時の細民窟は震火災の爲めに大半無くなつたわけであるが、その殘存部分には愈々密住生活を伴つて複雜なる問題を起して居るのみならず、燒跡にも到るところ震災前と全く同樣の家が澤山建てられて、縱令一時的の現象とは云へ、今日は寧ろ大多數の家が全く細民窟と同樣な情態である。勿論此の非常事變の後に突發したる特別の住宅問題は、一般の住宅問題より分離して特種の問題として別個の研究を要するものであるから、爰には論じないが、細民地區に在りては特に一部屋の家が非常に多く、然もその細民地區なるものは如何なる處に在るかと言ふと謂ふまでもなく概ねその地區の環境が非衞生的で、土地は卑濕を極め、地水で苦められ、下水も汚物も一緖に流れる樣なことも珍らしからず、床は低くて盛夏旱續きの際にも濕り勝ちな處である。斯樣な住宅敷地として不適當な處に極めて狹隘なる名のみの路次に面して建込められて居るのが此の地區の特質ゆゑ、此の地區內には通風は不十分で

ありと云ふ風で、床面積が足りないばかりでなく、天井の高さも極めて低く、壁も着いて居ないものが多く、疊さへも無いのがあり、日光の入る窓も不十分であるから、空氣の流通は悪いし、部屋中が陰鬱で自から氣もボウとするし、且一種の臭氣に堪へない。然も便所の如きは共同で、十人とか二十人に對して一個若しくは二個を有するのみで、炊事場はなく入口の處へ竈を据ゑて炊事することが出來れば結構な位である。況や洗濯場とか物乾場とか云ふものはない。斯樣な情況は我國の細民窩に共通の事實である。此の細民地區はもと都市の場末に出來たものであるが、今は都市發展の結果却つて內部に存することゝなり、或は郊外の立派な市街地に隣接して、都市の外邊に集團しつゝ散在して居ることになつて居る從つて之が改善を促すことは我國の住宅問題中最も考慮すべき問題と爲つて居る。

建築界の趨勢と住宅供給

物價の指數は大戰の影響に依つて漸次高く動いて來た。一旦暴騰した物價は容易に下りさうもない。大正三年當時の物價指數を百とするならば今日の物價指數は二百五十にも昇つて居る。賃金の如きは三百三十を超えて居る。建築關係の職人の賃金の如きも三百近くに騰つて居る。建築材料の如きも同樣である。之が直ちに企業としての貸家經濟に影響して家賃を高からしめることは言ふまでもない。則ち震火災前の東京府の調査に依れば大正二三年頃には疊一疊當り五十二錢のものが一圓三十五錢に騰つた。今の東京は特別の場合であらうが疊一疊二圓五十錢からのものも少くない。之を自然の情況に放任して置くならば此の傾向は恐らく年と共に益々甚だしくなるに違ひない。元來都市に於ては借家住ひの多いことが何處の國にも共通せる現象である。曾て獨逸で調査した所に依ればベルリンの如きも九割七分までは借家である。然るに此の借家は概ね借金で出來るのであつて多くは營利經濟に於て金を運用して造るのである。自己の有金で公債を買つたり商業に手を出すよりも、寧ろ家作にでも廻した方が宜いと云ふやうに預金運用の方法として貸家方面に使ふ者もあらう

が、その人と雖も自己の建築に投資する金に對してはヤハリ他の企業に使ふて生み出し得られる利益を得たいと希望することは自然の理であると思ふ。然るに資金を得ることが困難で、金利が漸次高くなつて來る所から、建築材料の騰貴或は賃銀の騰貴と相伴つて益々それが家賃に影響せざるを得ない。殊に大都市に於ては借地人保護の爲めに、借家法が適用されてゐる結果、法律に依つて借地權なり借家權が確實に保護せられ、借地權の期限は大體借地上に存する建物の存續期限と伴はしめられた事となり、借家する者も二箇月は保障せられたので、地主は借地に權利金を設定するか地代を上げる樣になり、貸家主自ら權利金を要求し、又は敷金を二箇月分も要求すると云ふ風になつた。

借地權なり借家權は出來るだけ保護を加へなければならぬことは申すまでもない、現在の借地法なり借家法の內容は都市生活の安定上並し必要なる最小限度のものである。随つて此の法規は今日適用されて居る所のみに其の適用地域を限局せずして他の都市にも適用を見るに至るであらう。又都市の郊外にして母市と共存共榮の關係に在る町村にも其の適用範圍を擴張しなければならぬもので、早晚此の法律は此の如く適用範圍を擴張さるゝに違ひないから、此の法律の適用に依る權利保障の對償として實質的に家賃を高くすることになる。現に東京なり、大阪なり、若くはその隣接町村に於て見るが如くに他の都市にもそれが現はれて來ることゝ思はれる。東京の例によれば此等の敷金、雜作代又は權利金と稱する名稱の下に通常家賃の三倍以上の金を拂はしめられて居る。此くの如き事は我國の住宅問題に特有の現象といふべく、歐米都市には餘り無いことで、これが問題をして愈々紛糾せしむる原因である。權利金等は月拂ひに依つて濟崩すことが出來ず、必ず借家契約締結の時に一時に出捐せねばならぬものであるから、借主は非常に苦しい立場に置かれ、勢ひ無理算段をして高利の借金に生活を脅威されるか、否らざれば一人當りの疊數を極度に小にして密住生活を忍ぶか、孰れか一方を選ばねばならぬ事になるのである。是れ實に容易ならざる問題である。此等の點を考慮の中に入れるとシユワーベの原則は我國において最も深刻に表はれるのではなからうかと思はれる。

歐米の社會事業を視て（十）

關東廳事務官　藤田倶治郎

第二十六、歐米社會事業の特質

余は大正十一年(一九二二)十月八日北米サンフランシスコ上陸の日から大正十二年(一九二三)六月十七日佛國マルセイユ解纜の日まで約八ケ月半の間に歐米各國殊に英、米、獨の社會事業を一通り瞥見した。其の間社會事業のみを視察した譯でもなくまた社會事業の全部を視たのでもないから徹底しないものがあることは免れない。併し成るべく多方面の實際施設を見てその實際施設を通して社會事業の大勢なり眞相なりを窺ひたいと思つて晝夜を分たず寸暇をも惜んで視て廻つた。其の間に有益なるヒントを得ること決して尠なくなかつた。前數回に亘つて述べた所はその中の特に參考になりさうなものを選んだのである。この外に防貧事業、教化事業等で見たものは大部殘つて居る。これ等は近く一纒めにして公にしたいとも考へて居るがあまり永く續いたから、本項はこの位で止めたいと思ふ。たゞ視察中特に感じた點謂はゞ歐米社會事業の特質とも見らるべきものを最後に數個條述べて見たい。

一、**社會事業の觀念が大部進んで居る**　今日の社會事業は、昔のやうに少數篤志家の試みる慈善の仕事でなくして、社會其のものが連帶の責任を以て行ふべき當然の仕事だと考へゐやうになつたことは、日本でも漸次主張されるやうになつた。歐米の社會事業に對する觀念は全くその域まで進んで居る。例へば獨立せる市民は貧兒を保護する義務があり、その費用を稅金として納めるとか、低能兒教育の如きも州營として稅金を以て經營すること他の一般教育施設と同樣になつて居る、と云ふが如く、社會事業を社會連帶責任と見る觀念が總べての上に現はれ居り、更らにそれが或は法制の上に現は

れ、或は國家の施設となつて現はれて居ることが餘程濃厚であると思ふ。

二、**社會事業に對する理解が進んで居る**　社會事業に對する觀念が旣に社會連帶の責任であるとまで進んでゐる當然の歸結ではあるが一般が社會事業に對して理解し同情することは餘程厚いやうに思ふ。從つて國家その他公共團體で手の屆かぬ所は私設で有力なものが非常に多い。これは到底日本などの比ではない。日本では社會事業の爲めに金を集めるといふことはなか〳〵困難であるが米國などではこれが大分容易なやうである。ニューヨークのＹＷＣＡ（基督敎女子靑年會）を視察した時に一週間にして三十萬弗（六十萬圓）集まつたと聞いて驚かされた。歐米では人が死に臨んで遺言に依つて遺產の大部分を社會事業に寄附することは珍しくない。余の知つてゐる村の或る富者が死に臨んで自分の所有の土地の幾分を自分の屬して居るお寺に寄附した。それは自分の死後の謚に院殿號（之を付けると家の格が上るのだといふ）を付けて貰ふ爲めであつた。日本では社會事業に對する寄附といふと、何とか彼とか理窟を並べ、酷評までして出金を難んずる人でも、自分自身の冥福を祈る爲めとか、自分の遊興費は惜げもなく濫費するといつたやうな手合が決して珍しくない。余が太正十一年の春、濟南の東文學校を視察した時、校長の豐田神尙氏が語られた所は今もなほ耳底に新である。曰く『歐米人が支那の文化を導く爲めに施設し或は運動する狀況は太したものです。昔から大學を作り、博物館を設け、病院を建て更に米國の如きは學制調査の名を以て屢々有數の學者を此の地に派遣して、到る處に講演させて居ます。モンローやジユウエーの如き各地で熱狂的歡迎を受けたものである。之れに反して日本のは漸く東亞同文會が上海に同文書院を設け、この頃天津と漢口とに中學校を設けやうといふ位のもので、その他にはこれぞと云ふものは一もありませぬ。況や學者を派して支那文化を導かうなどと云ふことは一度もありませぬ。歐米の文明に比して日本の文明が後馳せであるから止むを得ないやうなものゝ殘念の至です。由來日本人は外國に於ける文化事業殊に支那に於ける文化事業については甚しく冷淡であります。例へば私がこの學校を大正五年以來經營して居ますので內地から澤山の參觀者が參ります、或は實業家或は官

吏或は代議士といふ風に各方面の人が見えます。併しまだ一人も自分がこれ丈の經濟的援助をしやうと云つた人はありませぬ。濟南あたりでも相當の成金が出來てゐるやうです。けれども學校などのことについては一向冷淡のやうであります。その癖遊興費などは驚くばかりの額に上るのです。例へば青島などでは景氣の好い時は一個月の遊興費が五十萬圓、濟南のそれが六萬圓、現在でも濟南だけでも毎月二萬圓は費されて居るさうです。之れに反して歐米人の遊興費は至つて少額のやうであります。第一濟南あたりには西洋人の遊興所はありませぬ、有つたところで、それは俱樂部位のものです。西洋人がその母國の天長節などに日本人をよく招きますが食物などは極めて簡單なものです。一體日本人は食物本位の民族です。日支人相集まつて痛飲暴食しそれで日支親善だなどと云つて居るのは間違ひです。遊興費に多くを費さない歐米人が支那において文化施設に秀で遊興費に多くを要する日本人がその點において甚だしく貧弱であるといふことは如何にも慨かはしい至であります』云々と。この邊の呼吸が彼此大部異なつて居るやうに思はる。

三、**社會事業も他の諸事業と同じく科學的に研究し施設して居る**　この點も日本のそれよりも餘程進んで居る。例へば兒童問題について考へて見ても幾多の部門に分れて居て實に到れり盡せりの感がある。即ち同じ變態兒童でも不良のものと不具なものとを分ち不良なものは更に之を種々に分類して保護する。不具者の爲めにも學校を作つてある。幼少の子供を世話するにも、二歳未滿の者と二歳以上とに分つて、專門的に世話をするとか、低能兒の爲めにも公共團體の事業で堂々たる學校を建てるとか、すべて研究的であると同時にまた科學的である。

四、**社會事業も整理時代に入る**　北米マサチユセッツなどでは既に社會事業の整理時代に入つて居る。例へば兒童保護の事業の如きも、數十年百年といふ長い歷史を有つた各種の團體が協定の上、互に重複しないやうに又互に煩を重ねないやうに統一せられ整理されて居る。整理といふことは多くの事業が既に存在して居ることが前提である。日本などではその前提たるべき事業すらも未だ十分に出來て居ない有樣である。

五、社會事業が漸次根本へ向つて進んで居るやうに思はる　卽ち貧者を救ふよりも、貧者を生じないやうに防止の事業を研究し、直接の防止から更に進んで間接の敎化に進み、敎化も成人の敎化から進んで少年に及び、少年から更に嬰兒に及ぶといふやうな有樣である。尙ほ事業の進んだ結果は社會事業の精神が禽獸にまで及んで居る。德禽獸に及ぶとは東洋道德の誇りと考へて居たのであるが、社會事業的の施設として禽獸にまで及んで居るのは、寧ろ日本に見ずして歐米の方に見るのである。例へば動物虐待防止會の如きものである。日本でも横濱、神戸の如く外人の多く住んでゐる都市には、SPCA(動物虐待防止會)なるものがあるが、これは外人の企圖に日本人が引きずられ乍ら行つて居るやうなもので、日本人の創意でないからあまり振はない。日本人にはまだそれ丈の餘裕がないとも見られやう。(了)

我國の政黨と社會政策

松臺居士

議會政治の本場所である英國の今日は、保守黨の全盛時代で、自由黨は凋落期に入り、保守黨に對抗する力を有つて居るのはマグドナルドの率ふる勞働黨だけである。既に一たび政權を獲得した勞働黨の議會政治に對する今後の行動は蓋し見物であらう。トーリーとホイツグスとから出發した英國における二大政黨の對立、卽ち保守黨と自由黨との對立の時代は去り、一九〇〇年に立黨した勞働黨がメキ〳〵大きなものになつたのは、時代の力の然らしむる所とはいへ、議會政治革新の一曙光といへるだらう。併し英國の勞働黨が極端な左傾主義でないことは、共產主義者を排斥した一事に徵しても明瞭で、惟ふに是れ英國の民性が極めて穩健なるが故であらう。

我が日本にも今や勞働者を背景とする無産政黨が生まれ様として居る。この年末から翌年へかけての帝國議會が若し解散となれば、今度の總選擧は普選の實施となるわけで、この機會に胎生中の謂ゆる無産政黨なるものが呱々第一聲を上げやうと云ふものだが、英國の勞働黨が一八六七年と一八八五年の選擧權擴張時代に芽生えて、漸進的にぢり〳〵と地盤を堅め、勞働組合の基礎の上に一八九三年に至つて始めて獨立勞働黨の組織となつて現はれ、一九〇〇年に今の勞働黨となつたことを思ふと、日本と英國とはその國情も民性も異なるとは云へ、日本の勞働黨ともいふべき芽生えたばかりの無産政黨が議會政治の上に威力を發揮する迄には、蓋し相當の歳月を要する事であらう。随つて我が日本においては既成政黨によつて今後も猶ほ議會政治が暫らく左右されて行くものと思はなければならぬ。

そこでこゝに我が國の既成政黨について少しばかり一言してみる必要がある。我が國の既成政黨は英國におけるが如く地主黨が保守黨、商工黨が自由黨となつたとはその趣を異にし、薩長土肥の分裂から薩長藩閥打破といふ勢ひが醞釀されその雰圍氣から生まれたもので、政權獲得が主たる目的であつた。この故に自由黨は土佐派の勢力を代表した板垣退助によつて作られ、改進黨は肥藩の勢力を代表して長派の牛耳を執れる伊藤博文等と權力爭ひをした大隈重信によつて作られたのだが、憲法發布、議會開設以後は、政黨に種々の消長作用が行はれ、西郷從道、品川彌二郎等に率ひられた國民協會などが起り、松方内閣の下に選擧干渉といふ大芝居を演じ、改進黨、革新黨、その他數四の同志團體は相合して進歩黨を組織し、更に自由黨と進歩黨とが合併して憲政黨が生まれ、彼れ是れして居る内、この憲政黨は長閥の巨頭伊藤博文に接近し、その伊藤によつて今日の政友會が作られ、憲政黨は憲政本黨となり、次いで國民黨が出來、彼の憲政擁護運動が政界を風靡した後、伊藤に代つて長派の勢力を握つた桂太郎と國民黨の脱黨組とが次第に接近し、遂に桂によつて立憲同志會が組織され、それが今日の憲政會の前身であつたといふ様に、我が國の既政黨は徹頭徹尾政權獲得を目的とした團體である。この間國民黨位がやゝ異彩を放つたに過ぎない。政友會は伊藤の次に西園寺公望を黨首として桂の長閥内閣と妥協

しつゝ二たび政權を握り、桂が自ら政黨を組織するや、長派と絕緣し、薩派の代表者山本權兵衞と握手するなとの變通自在極まる事を敢てし、憲政會の前身立憲同志會は大隈重信を擔ぎ出して政權を掌握し、次いで原敬の政友會內閣、政憲聯合の加藤內閣、憲政會單獨の加藤內閣といふ風になつて來たのだ。この間、長派の寺內正毅に依り、薩派に緣ある加藤友三郞に依り、一種の超然內閣が組織されたことは世人の記憶に新たなる所であらう。

先づざつと斯んな調子であつて、既成政黨は源を藩閥打破に發し、やがてその藩閥の巨頭と握手し、それを憶面もなく頭首に戴き、ひたすら政權獲得の一途に向つて驀進したのだ。既に政權獲得を目的とする政黨であるから、主義政策が大同小異で、唯その末梢について相爭ひ、或は反對せんがために反對し、或は他を倒して己れを起さんがために戰ひ、時の勢ひで右に左に動搖し、小策を弄したり、陰謀を企んだり、甚だしきは無稽の說を流布し、妙な宣傳をなし、血で血を洗ふやうな事までするのである。卽ち既成政黨はどれもこれも政黨たる眞實の資格を備えて居ない。政變每に變な騷ぎが起るのはこの故であつて、政權授受が元老なる者によつて行はれるのも、つまりは政黨の未熟な爲である。併し既成政黨がその力で閥族と苟合しつゝも閥族の勢力を縮め、官僚政治を打破し、自由黨が當初唱えた民權の伸張に多少貢献したことは之を認めずばなるまい。斯うして議會政治、政黨政治の時代となつたのだ。

將に開かれんとする帝國議會が解散となるか何うかは分らぬが、解散さるれば普選の實施となり、これを又一つの劃時代として、議會政治の上に徐々と而も從來とは異なつた變化が現はれるだらう。歐洲大戰後の急激なる時代の變化と人心の一變からいつても、舊式政治はその影を薄らげ行くべく、さうして今後は、國民の實際生活に關係した事柄が政治上將た政爭上の重なる問題になるだらうと思ふ。政友會は今や分裂して政友本黨と政友會とに分れて居るが、その今後の離合集散は姑らく措き、憲政會も、政友本黨も、將た政友會も、既成政黨の總べてが殆ど申合せたやうに『社會政策』を政綱の中に掲げ出したところを見ても、外政は兎に角、內政においては、この社會政策の如何が政黨の運命を左右する重なる動

機になるだらうと考へられる。政權獲得のための政爭は、既成政黨の餘命を保つ限り、今後も尙繰返されるに違ひないが普選と共に民衆の政治的智識が進めば、社會問題が政黨を動かす力となるだらう。

普選實施後に無産政黨なるものが出來たところで、その勢力が一朝に强くなる筈はないが、既成政黨とは全く內容の異なつた政黨が出來れば、議會政治に新味が加はり、さうして國民の實際生活に關する社會問題の多くが政治の重心となつて來るに相違ない。本年九月十七日大阪の中央公會堂で開かれた全國無産政黨準備委員會は、政治、軍事、勞働、社會、國際の五大部門に分けてその綱領案を可決したが、その內の勞働と社會とに關する事項には注意すべき點がある。生活必需品の關税及び消費税の撤廢、高率資本税の創設、財産税及び奢侈税の創設、失業中の標準生活費の國家支辨、華族制度の撤廢、義務教育における資本主義的教育機關の撤廢などはその重なるものである。國際の項における帝國主義戰爭に對する反對、弱小民族に對する不平等條約その他一切の帝國主義的暴壓の撤廢、無産階級の國際的團結に對する一切の障害の排撃なども注意すべき要件であらう。この裏に社會主義の潜んでゐることは分るが、極端な社會主義ではなく、無論共産主義でも無政府主義でもないのは、聊か意を安んずるに足るわけだ。國際的にもこの方面のことは今後ます〳〵進んで來やうから、況んや國內的にこの種の問題が頭を擡げて來るのは當然で、社會政策と社會問題を閑却する政黨は、篩に掛けられて、次第に滅亡の彼岸に向つてその歩を運ばずことになるだらう。

政治も正義人道を基底とすべきものである以上、少數にのみ幸ひして多數に殃ひし、强者を跋扈せしめて弱者を號泣せしめ、大多數の可憐なる民衆を生活不安の渦中に投げ込むことは、國內政治としても、國際政治としても、惡の惡なるものである。我が日本の政黨がルツソーの民政論に共鳴して民權自由の聲を上げたのに淵源するのも當然で、それが横に外れて妙なものになり、却つて種々の弊害を生じ、議會政治、政黨政治の難有味を減殺したが、普選實施後は徐々に改まつで行くであらうと思ふ。民智と民力とは政黨と議會を漸進的に改めるであらう。

雪齋の國家觀と社會觀

小川運平

吁、國家的爭鬪觀

老鐵山や老和尚山の頂上觀望は泡子崖南山の眺望より雄大壯觀なるも人間と遠い感がする。九月十七日朝、中村海田老か東京から雪齋の病氣見舞ひに來て、絕命後葬送を濟まし歸京するのを大連驛に送りて後、始めて博覽會々場に入り見物した。流石に滿洲の首府(日本の)である化學工業の發達などは寧ろ驚歎すべしだと思ふ。今村君の案內にて第二會場の滿鐵館の高樓に上りて大連市を眺望した時の感想は、南泡子崖南山上の感想よりも一層その人生觀が適切に感じられた。其れが國家的爭鬪である。雪齋は之を感知しなかつたか、否最も痛烈に感知して居つた。

大連灣の史的回顧

高原より大連灣を俯瞰した時、英佛聯合軍が北京侵入の前この灣に入港し、ラヂンコウブ・ジヤンベイ・ビクトリヤベイ・バントベイの命名を大連灣內の海圖に止め、老虎灘は之をカンブリヤンと記した。その戰史は六十三年前の事に屬する。其後十五年にして李鴻章は太沽と旅順の經營に着手し、更に十年後大連灣を命名したる後、柳樹屯に砲臺を築いたが、和尚島老龍角に今尚ほその遺址を止め、水雷營門には有名なる劉銘傳の名を留む。正に明治二十三年の事である。五年後は日清戰爭となり、花園口の上陸、柳樹屯の上陸となり、旅順陷落、連戰連勝、三國干涉、遼東還附となり、明治三十一年露國の旅大租借となり、經營となり、遂に三十七年の日露戰爭となりぬ。此の史觀を有する吾をして更に自ら二十餘年の大連變遷史を語らしむる心契、默會は雪齋の靈も首肯するならんと思ふ。

都市大連の今昔觀

大連の縱五六哩、幅三哩餘の都市を見、更にその人口三十萬の歐羅巴式大觀を俯瞰する時、誰か日露戰時との實狀

を比較し來りて喫驚せざる者あらん。三山島の中央より機械水雷の敷設面を入り、海軍小棧橋に石川工兵大尉に會し大埠頭に地雷火六箇、發電所の大煙突周圍に二箇敷設ありしと、僅かに今の露西亞町と監部通りに敗殘の家屋以外支那の土塗店舖ありしのみが當時の光景であつた。

我軍の根據地となるや、東公園より寺兒溝一帶にかけ軍用品糧食の山を築きたる光景、軍隊輸送の光景、それが海戰、陸戰を經て戰後四箇年の軍隊生活に入り、戰勝の獲物たる滿鐵經營に移り、更に十八年後の今日の光景を見るは吾人の豫想以上であつた。余は明治四十四年と大正十一年の二年を除く外、一年に一回若しくは二回、滿洲に來てその變遷を實見せぬことはないが、歐洲大戰なるものが突發してからの大變化と共に、大連も一層急激なる進歩を來したる今日、内情は暫らく之を措き、この都市は益々發達し沙河口から香爐礁から周水まで延長しやう。

此の大都市が四五十萬人の人口を有する樣になれば、文化は愈々繁雜となり、思想は混亂紛糾するであらう。日本は清國と露國との國家的爭鬪に打勝ち日獨戰爭にも勝つたその武力と精神とは今日の地歩を占めたが、外交政策上の劣敗者、經濟政策の劣勢者であつて、民族爭鬪から孤立の位地に立ち、資本國であり且兵器の優秀なる米國の如きが日本の敵となつた時は、首腦部の本國よりも其の手足である植民地を攻擊するであらう。大連は先づ第一番に其の目標であらう。敵の飛行機や空軍の襲來に對する準備があるか。準備がなければ大連市は直ちに粉韲されるだらう。大連市民の狼狽は東都震災以上であらう。其時は當局の人之を救濟し防禦し得るか。恐らくは至難であらう。雪齋翁此の點に無關心であつたらうか、決して然らず。

雪齋の正義立國論

雪齋は二回も陸戰に參加して居たから、戰爭の慘苦を知り、常に國民精神の健剛と勇氣を養ひ尙武の風習を貴ばねばならぬと主張し、且つ科學的智識の向上進歩を促し、一般國民が個人として支那人よりも歐米人よりも優逸であらねばならぬ事を以て國本となさねばならぬと說き、殊に新日本を建設する大陸の青年は敢爲、潑剌、進取の意氣を以て邁往せよと教育しつゝあつたのである。

一昨年米國の排日問題突發するや、全國有志は憂憤して國技館に國民大會を催したが、會衆一萬餘、雪齋翁は起つて一場の演說を爲し、國際外交の公平且正義ならさる可か

らざる所以を說き、非法非理なるものは國を擧げ民力を蒐めて排擊すべきものなりと大いに喝破した。

我國は國土狹少にして物產少なく、農業立國と云ふも食糧品にすら窮し、食料問題又は人口問題なるものに沒頭す工業立國と云ふも化學工業、機械工業は振はず、顧みて原料品如何といへば、之も乏しく、產業立國たるや亦甚だ難し。生產品少ければ又商業國たる能はず。須らく國民皆正義を踏み、日本の國民精神を發揮し、如何なる强國と雖も非理の前には戰鬪をも辭す可らず、弱少の國と雖も決して侮る可らず、强弱二國に對して和戰兩樣の準備を有し、然る後正義の勝利者たる覺悟なかる可らずとなす。是れ雪齋翁が常に唱えた正義立國論の要旨である。

翁の社會觀と國家觀

雪齋の社會觀と國家觀は、平面觀と立體觀の如く、日本なる國家觀念は立體的絕體觀として、萬古不滅ならざる可らざるも、天道は平等にして、社會と民族には同一の幸福を與ふるものなるが故に、最も優逸なる智能を練磨し、不斷の努力勤勉を以て社會と民族を進め、他民族の模範たるべき社會平面觀の先驅者たらざる可らずと歸結し、之を唱說すると共に之を實行して始終したるが如し。其れは雪齋翁の行藏とその一生を通觀すれば明白である。

●露國の經濟探偵規定　勞農政府にては最に經濟密偵に關する規定を設け中央執行委員會議々長チエルウチコフ人民委員會議々長代理カーメネフ氏署名のもとに發布したるが此の新規定は現在既に赤化し事實上勞農政府の勢力下に在る外蒙古にも之を適用しつゝある由なれば勞農政府の諒解なき他國の經濟調査隊は同規定の適用を受くる恐れありと其の規定は（第一條）密偵即ち國家的機密として見なさるべき內容を有する情報を外國並に反革命的團體又は個人に傳達する目的を以て剽窃し蒐集し傳達せしものは社會擁護手段として三箇年以上の禁錮に處する若し密偵行爲にして國家のインテレストに對して特に重大なる影響を及ほせし場合には銃殺に處する（第二條）其の內容に依りて特に警護せらるべき國家的機密には屬せざるも而も法律上の直接禁止に依り又は官廳機關及び企業の指導者の命令に依つて公表を禁止せられある經濟事情を蒐集し又は此種の情報を報酬に對し又は無報酬にて第一條に記示せられある團體又は個人に傳達した者は社會擁護手段として三箇年以下の嚴重なる隔離禁錮又は普通禁錮を以て處罰すると云ふにある。

區長問題

◆大連市四十八區の各區長又は代理は十一月十二日西公園內の西園亭に協議會を開いて區の問題に就いて審議した◆斯くして大連市聯合區會が出來る事になつたが元來區の仕事は都市の自治政に最も深い關係を有つたもので寧ろ都市自治の根底である◆都市の社會事業は都市の自治とその事業に自から關聯した處があるから都市の社會事業を進める上にも自治の實際的根底に對して相當の注意を拂はなくては成らぬ◆日本でも近頃は社會問題と共に都市問題の研究が盛んになり東京市政調査會からは「都市問題」と題する機關雜誌が發行される樣になつた◆この雜誌の第壹卷第七號に尾崎市長時代の助役であつた田川大吉郎君が「普選後の市制」と題する一文を揭げその中に東京市十五區の區長に關する事を述べてゐる◆その要所々々を搔い摘んで見ると「區民の區長に對する關係は市長よりも近いのに區民はその遠い市長を選擧することが出來ても(それは市會を通じて)近い區長の選擧は出來ない」◆「區長は任命された吏員も同樣であるから區民は區長と區長のする事務に對し他人の事のやうな疎々しい感を抱いてゐる」◆「人は市民卽ち區民の自治心が乏しいと難ずるけれども區長と區政と區民との關係が自治的に出來てゐない狀態をその儘にして置いて自治心の缺乏を難ずるは無理である」◆「然らば之れをどう改むれば宜しいかと云へば區に獨立の自治權を與えその必要とする事業と計畫をさつさと遂行するを得せしめその區長は區民若くは區會の自由に選擧し得るやうにする事である」◆さつと斯んな論旨であるが東京市の十五區のうち本所區と淺草區とは自治都市たる長崎市や廣島市や吳市や福岡市よりも人口が遙かに多い◆下谷區、深川區、神田區小石川區、京橋區、牛込區とても他の獨立都市よりも人口が多く若くはそれと殆ど相匹敵してゐる◆この點から云つても東京市の十五區は之を自治の根柢的獨立主體とし區長を區民に選擧せしめ區長の義務と權限を明かにし更に區の自治的事務の範圍を定める必要があるわけだ◆英京ロンドンの市制は目治政の模範であるが其のカウンティーカウンシルがてふど區のやうなもので其の區の事務と區長の權限は大きなものだ◆如何に日本の帝都でもあり中央都市である東京市でも此のカウンティーカウンシルを其のまゝ眞似ることは出來まいが現在のやうな區のでいたらくではお話にならぬ◆田川君が東京市の區問題と區長問題を論じてその改正を

叫んだのは當然でこれを改めなければ市役所と市會とがあつても都市の自治政をまじめに堅實に發達させることは出來ない◆東京市ですら區長と區の立場は現在猶ほ甚だ不合理であるのだから況んや昨年末に漸く自治體らしくなつた大連市の區長と區の事務を合理的にするのは容易でない◆だが植民地は物に依つて本國よりも一歩進んで新らしい事をなし得る機會と便宜とを有つて居るから特別に考慮する餘地もあるだらう◆大連市の區長は元と區委員と言つたもので今回それを區長と改名し同時に區長代理を置く事になつたのだが夫れが市制の改正に伴つたものとすれば改名と共にその實質を改めることも必要である◆東京市ですら十五區であるのに大連市の區が四十八區とは少しく多過ぎるやうだし支那人との關係もあるから區長を區民又は區會の選擧にすると云ふことは今のところ望めない◆從つて任命式若くは囑託式に據るのは是非もないが單に市の傳達機關たり世話役たり小使たるのみで飽まで椽の下の力持ちになれと云ふのは少しく酷のやうである◆勿論區長なり區長代理なりは市自治のため自ら進んで小使たり椽の下の力持たる犧牲心がなくては成らぬが單に義務のみ負はせて少しも權利イヤ自主的權能を與えないのは可哀さうだ◆名譽職であるから物質的待遇などは必ずしも問題でないとしても都市自治の根柢たる區の實際的仕事をする區長や區長代理は今少しく好遇しても可い筈である◆斯くして區長又は區長代理をして心から悅んで區の仕事に精を出させる樣になれば大連市の自治は實際的に堅實に發達して行くであらうと思ふ◆市の仕事と區の仕事との區別も問題でその點をハツキリ定めて置くことも大切だが何にしても大連市の區は今少しく意義あるものにしたい◆都市自治はその都市に住する市民を胴體として發達すべきもので執行機關たる市役所と議決機關たる市會とは其の双翼、兩輪、双手、兩眼とも言ふべきものであらう◆區はその胴體の一部分で市民即ち區民と最も近い關係を有つて居るから市政の進歩を期するには區に對して十分の考慮を拂はなくては成らぬ◆市役所と市會とがあれば市の自治は出來ると無雜作に考えるのは大きな間違ひでそれは植物の幹や枝が地下の根から生命を受けると云ふ道理を認めぬ樣なものだ◆眞の生命は眼に見えぬ處に存ずる花や葉に氣を取られて生命の基たる根を認めぬのは大なる妄見だ◆自治の生命が那邊に在るかを思ひその生命の一たる區の成育に心を致して市政の發達を期すべしである。



ロシアの消費組合

富士辰馬

鰻は鰻の穴に棲み蟹は蟹の穴に棲む。若しや鰻が間口の廣い玄關に砂を盛り上げた蟹の穴に潜り込んだとしても必要な餌物は求められない。鰻は渦を卷いて水の流れ込む隧道に戻るか、さもなければ、蟹の棲家を已れの生活に適應するやうに改造しなければならない。ロシア人も革命の初め數年において蟹の穴に飛び込んだ鰻の困惑に陷らざるを得なかつた。蓋し分配方法は常に生産方法に相應する。生産手段に對する私有權を改廢したソヴィエト政府は從來の分配機關たる商業と衝突した。

そこで漸次に商業の改廢に着手しなければならなかつた。仕事の前驅として大商業を沒收した。之は主義としての目的に副はんが爲めであると共に當時の鋭い食糧難と商品の飢饉を救濟する爲めであつた。だが之が分配における仲介者は何人が其の任に當るか、政府は此處に新機關を設置するか、或は又從來の機關を利用するかの岐路に立つた而して消費の急と商品の頽廢とは政府の逡巡を許さなかつた。そこで政府は第二の途を取つて生産品の分配に於ける主要な役割を從來のコーペラチーヴに委囑した。

之には勞農の幹部に異論があつた。反對派はコーペラチーヴが單に小商業を驅逐し、却つて大商業の發展を支援する、大資本家は之が爲めに餘分な商業資本の一部を工業に分用する事が出來るから、只で支店を設けると同樣であると反駁したが、レーニンが一九二三年の一月に書き同年の初夏に全露の新聞に掲載されたコーペラチーヴに關する二箇の短論文は、上記の反對を一掃して、露國に於けるコーペレーターの信條となり、今日の如く全露の組合化を促すに至つた。其の大要は『ロシヤではコーペラチーヴに對する注意が足りない、だが今やコーペラチーヴはロシアの經濟に於て絶對の意義を獲得した、プロレタリアットの掌中に政權と主要な生産の手段が握られてゐる限り、コーペラ

チーヴは新社會に至る恰好の橋梁であり、殊に農村に於ける生産や交換はこれを尨大なコーペラチーヴの網で蔽はなければならない』と云ふにあつた。

右の所論は如實に遂行されて、今や國家と消費者との交換、外國との貿易、都會と農村との仲介、工業品と農業品との取引は殆ど絶對にコーペラチーヴが其の衝に當つてゐると言つても過言でない。斯くて政府は之れに多大の努力を傾注し、コーペラチーヴには私商業との競爭に打ち勝つやう一切の特典を與へ、黨員の勢力を分配するに方つても第十回の黨大會でミニマムプログラムとして、外貿委員會五四五人を置くの外、金融機關關係者七二四人、コーペラチーヴ關係者一、三六七人を計上した。

昨年六月に首相のルイコフがウォルガの凶作地を巡視した際の演説は、何時もコーペラチーヴの增設に力點を置き農民が工業品の高價を愬ふるはコーペラチーヴに加入せずに個人の商店から物資を購入するからであると説き、殊に家計を執掌して一般に男よりも女の眼を之に向けて女の組合員を殖やさなければならないと激勵した。

ロシアのコーペラチーヴはイギリスやドイツやスイッツルと並んで古い歷史を持つてゐる。其の發祥は一八六一年に農奴制の解放が行はれると間もなく西ロシアに現れて次第に發展した。ロシアに於て社會上の優秀な指導者は前世紀の後半から今世紀へ掛けて此のコーペラチーヴとゼームストウオと呼ばれる農民の自治的參與機關とで、遂に今日の發展を見るに至り、一九一七年の十月には六一二の聯合せるコーペラチーヴを見るに至つた。同年に組織された組合の大集團はツエントロソユーズ(全露消費組合中央聯合)と稱して一九二三年の七月には此の大組織を構成する組合の數が二萬二千九百二十四を算し、其の會員は約一千萬人に及んだ。一會員の家族を假に五人とすれば五千萬の住民が此の機關に依つて配給を受けてゐる事になるが、舊ロシアより分離せる邊境の諸國を除いた新ロシアの人口を一億三千とすれば、全住民の三八・五%はコーペラチーヴの恩惠を蒙つてゐるのである。而して其の商取引高は國内の全商取引高の二六%を占めてゐると云ふ。露國のコーペラチーヴは其の作業が單に交換の領域に限らず、信用、生産の諸領域を網羅し、組合員の社會上の構成に於ても富農、貧農、官吏、使用人、勞働者の一切を包含する。

ソヴィエト露西亞の顯著な特徴は外貿の國營である。之は革命の重要なる捕獲物の一として政府が墨守して放さな

いボリシエウイキが其の國是とする「推算と管理」を以て諸外國との貿易を組織し以て世界の市場に覇を唱へやう爲めである。之が爲めにソヴイエト露西亞は其の締約國に外交官とは獨立の貿易官を置いてゐる。英國との協定に於ても此の權利を獲得した。之はイギリスがロシアに於ける外貿の國營を原則として承認したものである。されば該協定が調印批准された曉はロンドンに於ける露國の貿易官は公式に承認される。斯くの如き次第で、新ロシアは外貿と內貿の實權を握り從來の商人に代つて外國と取引をなすものはツエントロソユーズである乎、或は他のコーペラチーヴである、露國の貿易は之を對象としなければならない。之を對象とするは、却つて名も知れない個人と契約するよりも確實であり、それに信用の點に於て疑惧とリスクが尠いから、取引の上に便宜が多いことであらう。

右の次第でロシアに於けるコーペラチーヴの研究は、理論家に取つては過渡期に於ける分配の有力な機關として特殊の興味があり、當業者に取つては將來の取引を結ぶ上に必須の事柄であると思ふ。此の一文は露西亞に於けるコーペラチーヴの說明を目的とするものではない。斯んな短い文章でそんなことを企てるのは藥の匙で米を量るに等しい要は之に依つて一般の人士が何等の注意も拂はれずにゐるロシアの古くしても而かも新らしい機關に就いて眞面目な研究を進まれんことを望むのである。

ドイツに於ける公立貯蓄金庫

在東京　囑託記者

ドイツは他の諸國と異なり、郵保貯金の制度なく、郡又は市の經營に係る貯蓄金庫と少數なる私立貯蓄金庫とが其の貯蓄機關である。是等の公立貯蓄金庫は幾百年來自然に且健全に發達し來つたもので、その數に於てもその力に於ても何等の不足を感ぜず、從つて郵便貯金の制度を設くる必要がないのであると言はれて居る。實際市立貯蓄金庫は

古い制度であつて、ドイツの都市には殆ど例外なしに設けられてあり、主なる都市にはその預金者數がその都市の總世帶數以上である。此の公設貯蓄金庫は邦立貯蓄金庫と公立貯蓄金庫(市立貯蓄金庫)との二種より成る。

今ドイツに於ける公設貯蓄金庫の情況を略述して見ると、二種中の邦立貯蓄金庫は其數甚だ少く、僅にオルデンブルグ國貯蓄金庫及びデトモルド貯蓄金庫等あるに過ぎない。前者は殊に著名である。同金庫は一七八六年の創立にかゝる一種の慈善機關である。金庫は政府保證の下に立つて從屬關係に在るけれども資産は獨立して之を管理して居る。放資方法は甚だ寛で、抵當貸付、町村貸付、保證貸付、質貸等を爲して居る。受拂金額には制限があり、最低一マルク、最高半ケ年毎に三百マルクで、總額千五百マルクを超ゆることが出來ないことに成つて居り、尚ほ即時拂ひは五十マルク以下に限られて居る。

公立貯蓄金庫はドイツ殊にプロシアに於て最も古くから行はれたものであつてドイツに於ける貯蓄機關の大部分は此種に屬する。今その概要を述べると、普國に於ける公立貯蓄金庫の起源は一八一八年ベルリン市に設けられた市立貯蓄金庫であつて、その後他の都市も之に倣つたのであるが、それは未だ小額信用制度の行はれて居ない時であつた一九〇一年プロシヤに在る千五百八個の貯蓄金庫の內、六百八十六は市立、百八十五は私立で、殘りの全部が町村立或は區立の貯蓄金庫であつた。サクソンに於ては總ての貯蓄金庫が市立である。市立貯蓄金庫は市內及び郊外にその取扱店卽ち支店を有して居る。ベルリンの貯蓄金庫は七十五の取扱店を有しハンブルグにはそれが約四十もある。ベルリンの預金者は四十萬人でその額一億五千萬マルクに達する。五六年前に於けるハンブルグの市立貯蓄金庫の預金額は一億マルクで尚ほ增加の傾向があつた。ドレスデンにては預金帳の未拂額が二十萬マルクで總預金は五千萬マルクを超過した。ライプチツヒ、マグデブルグ、ブランクフルト、アムマイン、ハーノーバーケーニスベルヒ、デユセンドルフ等におけるそれ〳〵の公立貯蓄金庫は、その人口に應じて多くの預金者を有し、隨つてその預金額もまた莫大で、アトナブ、レーメンの如きはその預金額に信じ得られぬ樣な統計を示して居る。アーヘンに於ては殆んど總ての男女兒童等がその預金帳を持つて居る。

一八九〇年の初には十萬五千の銀行帳が未拂であつて七千五百萬マルク以上市立貯蓄銀行に對して貸方になつて居

た。フロシヤに市立貯蓄金庫が設立せられた當時は、フロシア政府の貯蓄金庫に對する態度極めて消極的で、金庫の設立を國家の官衙へ屆出づべき旨を都市に命ずるに止まり別に許可を必要としなかつた。然るに其後都市が金庫を設立するにつき國家の許可を要することに改められ次いで一八三八年の閣令は貯蓄金庫に對する國家の干涉程度を規定した。此の閣令の內容は單に金庫の組織及び業務經營の方法並びに國家の監視權に就いて概括的規定を設けたるに止まり、其他は總べて當該市町村(金庫を設立せる地方團體)の自治經營に放任し、國家の監督官廳は金庫に本來の目的を沒却するの行爲があるか無いかを監視し、此の如き行爲ありと認むる時は、之が排除を强制するの權限あることを規定したに過ぎない。此の閣令に基く國家の嚴密なる監視と金庫の保留する自治との結合は實にフロシアに於ける貯蓄金庫の進步發達を奬勵したのである。此の閣令當布以後フロシアの公立貯蓄金庫は漸次著るしき擴張を見、一八三九年には貯蓄金庫數八十五、その貯蓄金額千八百萬マルクであつたのが、一九一八年には實に金庫數千六百七十八、貯金額九十五倍七千百萬餘マルクに達した。

州市町村にて貯蓄金庫を設立せんとするには先づ定款を作成して創立の許可を監督官廳へ申請する。監督官廳は貯金が定款に從ひ確實に保管及び放資せらるゝや、貯蓄金庫を設立する市町村團體の歲計が金庫設立の結果動搖する虞れなきや、細民の貯蓄を奬勵するの目的を脫することなきや等の諸點に就き調査を遂げて之を上級官廳に移し、上級官廳はその議決機關たる州會の同意を得たる場合に限つて認可を決定することを得るのである。

次に貯蓄金庫の放資は對物信用の外に對人信用に對しても之を爲してゐる。政府發行の諸有價證券を擔保として貸出し、動産及び證券の質貸付を爲し、貧民の爲めに無擔保の貸付を爲し、町村の債務償還の要求に應じ、又市內の質商に貸付け、進んで町村の融通貸出にも放下する。一例を擧げると、アルトナに於ては投資資金の九十五%は抵當貸であつて、フランクフルトに於てはそれが二十一%二分の一であつた。市立貯蓄金庫はその資本の一部を確實なる有價證券に投資するに附け加へて地方當局に貸付けしたり又は市內にある土地と建物を抵當として貸付けするのである。尙ほ屢々小住宅建築の補助を爲して居る。又此の目的の爲め市當局は貯蓄金庫と協力する。貯蓄金庫は一番抵當として財產價格の半分まで貸付け市當局は一番抵當でそれ以上

の額を貸付するのである。フレフエルドにては財産價格が二千磅を超過せざる時は貯蓄金庫は一番抵當でその價格の五十％まで貸付するし市當局は全價格の七十五％まで四％二分の一で二番抵當として貸付する。新家屋取得後一年以内に借手はその返還準備として少くも貸借額の二％以上を支拂はねばならぬ。マグデブルグに於ては小住宅建築を容易ならしむる爲め、市當局は一番抵當で價格の五十％まで貸付し、それに貯蓄金庫の前借を入れて財產全價格七十％まで二番抵當で貸付をして居る。

更に管理方法如何と言へば、業務執行者は自治體の吏員之に當り、金庫の債務は自治體の租税を以て之れを保證し預入上の制限は各地の情況に應じて適宜に之を定める。一般にはマルクを單位として居る。小額の預金者には切手貯金の方法がある。それは最高五千マルク乃至一萬マルクで時としては千マルクのものもあるが、團體の預金に對しては制限を高くして一萬五千マルクに達せしめて居る。併しながら實際においては小額預入者多數を占め三百マルク以下のものが六割を占むる情態である。

本店は中央部に在つて、本支店共に勞働者階級の用に便宜を與ふる爲め、開店及び閉店の時間は勞働時間に合致せしめてある。貯蓄金庫の支店は工場或は借家住地の附近に存し、ベルリンには七十五の支店あり、本店と同樣に預金を預り支拂をなして居る。市立貯蓄金庫は自立であるが營利を目的として設立されて居るのではない。同金庫が預金に支拂ふ利子の割合には多少の差異あるも普通の割合は三乃至四％である。貸付利子は三乃至五％にして利鞘より營業費を差引いたものである。純益の處分法は、貯金額の一割まで準備金として積立て、尙ほ殘金ある時は一般預金者に配當し、下層者の爲めには特別の配當を爲し、また公共事業に使用することも少くない。ベルリン市立貯蓄金庫の如きは曾て十五萬マルクを孤兒院の建築に使用し、又八十八萬七千三百マルクを數年間に亘つて學校建築に使用したこともあるといふ狀感で、頗る努めてゐる。

公設貯蓄金庫はその共同の利益を增進するが爲め貯蓄金庫聯合會を設けて居る。之は一八八一年以降の事であるがドツクに於ける貯蓄金庫の共同的利益を增進し兼ねて貯蓄機關の制度の完備及び擴張を期することを目的とする。此の聯合會は十箇の支部を有し、任務は更に自己に屬する貯蓄金庫の共同的利益を增進し、所屬貯蓄金庫より提出する貯蓄金庫制度に關する經濟上又は政治上の重要問題に對し

で相當なる解決を與へ、若くは自己の任命する檢査員をして所屬貯蓄金庫の財政を檢閱せしむる等の手段に依つて貯蓄制度の完備と擴張を計るのである。ドイツ國內の公立貯蓄金庫はブルンスウイツクを除いて大戰前には本店二千八百四十三、支店六千二百八十四、預金額百二十五億マルク以上であつたが、その後堅實なる發展を遂げて、今や公立貯蓄金庫の本店二千九百五十、支店八千七百四十一、預金額總計二百三十八億マルクに達した。

北米ロ市の少年團と交通調査

それに從事する少年は平均十七歲である

北米ロスアンゼル市に於ては交通事故、交通混雜を根本的に解決する必要に迫られ、市民委員會、公道計畫委員會交通委員會はバーソロミエー・チエニー・オルムステツド三氏に委囑し、既計畫の批判とその救濟策の調査とに從事せしめた。そこで其の第一着手として、午前六時より午後七時に至る間、市の商業地區を調査委員が取圍んで地區內に出入する車輛を計算した。そして此の計算に從事した者には一定の報酬を支給した。その結果、地區內に入つた車輛二十萬五百八十四、出たもの十七萬千三百一であることが分つた。午後六時後尙ほ商業地區內に殘留せる車輛數は午前七時に地區內に在つたものと推定した。

交通緩和に最も努力すべき箇所を知らんが爲めこの地區外の數多の地點に於ても、交通量とその方向とを調査するの必要あるが、鋪裝及び地形の關係上ロスアンゼル市の街上交通は、通行車輛をして極めて一定的の行進路を辿らしめて居る。是れ調査箇所の選定を容易ならしめた一事由である。この交通調査の催しに對しては各種の斡旋試みられまた此の事業に要する費用を節約する爲め特志調査員を得んことに力めたが、ボーイ・スカウトは相應の訓練があり且市內各所より募集さるゝもので、市政に興味を有する團員が多いと云ふ理由により此の目的の爲めに選ばれたのである。ロ市少年團長デグロート氏は此の計畫に双手を擧げて贊成し、その熱心と責任感とにより、調査の成功に寄與することと大なりしは事實である。

調査は一九二五年二月十四日(木曜日)午前七時より午後六時半に亘つて行はれた。特に此の日を選んだのは、別段の理由ある譯ではないが、木曜日は交通情況において一週間中の平均日である爲めである。一年の中より言へば此の調査日は決して適當なものとは言へない。何となれば此頃は午後五時半を以て日沒となるからである。然れど調査の結果を一刻も速に求めんが爲めに斯くすることは已むを得なかつたのである。そして全市は此の交通調査に對して極めて周到に深甚の興味を持つて注視した。

少年團に於ては百二十五の分隊を設け、各隊平均十名の少年を配屬して調査に從事せしめたが、學校委員會はボーイ・スカウトに劣らざる興味と熱心とを示し、特に調査に從事する少年の爲め當日は學校に出席したるものとして之れを取扱つた。尤もその調査に從事する少年は父兄又は保證人の許可あるを要し且前日までに受持教師に其の旨を報告し置くことを要する規定であつた。

斯くて少年團においては調査擔當の少年に調査の方法を說明し、カードを作成し、徽章を制定し、適當の長さに切斷せる鉛筆を配付した。街角には丈夫なる封筒を備へ又スカウト本部に記入カードを返却するに用ゆる封筒をも配付した。各團員は徽章を佩び、鉛筆と方向入りの記入用紙を携へ、時計を帶び、指揮者は豫備カードの供給を掌り、受持街角に於て實地指導を爲した、そして少年には受持道路を示し、豫じめ指示事項を研究する爲め一定時間を與へた大なる壁掛圖を以て街角のダイアグラムと四方より來るべき凡らゆる方向を示し、調査すべき地點が直線道路上なるか三叉路上なるか又は五岐六岐の地點なるかによつて特別なダイアグラムが準備されたのである。

調査に從事する少年は平均十七歲にして、指示事項は十分了解したのであるが、更らに念の爲め此等の少年に對し一讀過のみでは明かならざる多くの點につき說明を加へた例へば如何にしてタクシー自動車を計算すべきや、商業用の中にはトラックをも包含せしむべきや、車輛は如何にして街角を曲るや、同一路を歸還するものも亦これを算入するや等の質問が少年等に對し發せられ、之に對して更にそれ〲解說が試みられたのである。

調査當日は清澄にして溫暖であつた。スカウト事務所は日出前に開かれ、七時には百名の豫備員をも集め得、自動車その他によつて不足人員の補充を行ふた。本部にては終日各調査箇所に就き組織的の檢閲を爲し、檢閲者は豫備カ

ード、豫備員を具へて居つた。調査の結果は十五分間毎に區分し、一街角に對する四調査箇所を一纒めとし、歩行者乘用自動車、トラックを區別して大なる紙面上に作表せしめ、斯くして各街角に對し總計二十四欄の統計を表示した横欄の總計には調査箇所と同一側の路上を通過したる車輛の數を示し、縦欄の總計には對側の街上を通過したるものを示した。兩總計の合算は街路上を通過したるものゝ總數であつて此の數字を交通量圖上に記した。

交通量圖は一千六百呎を一吋の割合にて示したる地圖上に街角に於ける調査數字を記入作圖することに依つて作成されるのであるが交叉點よりの各岐路は交通量に應じて幅廣く記載せられた。則ち一吋の幅を以て五萬輛の自動車の通過を示して居る。斯くして出來上りたるダイアグラムは明確に交通の集中點を示し、通常の情態を超えたる交通的潮流の爲め、或は街路の擴築を爲し、或は曲線を直線に變じ、或は側溝を除去して交通の緩和を試みざるべからざる必要ある地點等を示すものである。

交通量圖の研究は鋪裝情態や幅員關係を十分了解したる後でなければならぬ。最も繁激なる交通のあるところ常に必ずしも自然的に然るに非ずして、街路幅員、車輛行進路二等商業中心地區及び其他の有效交通幅員を減ずべき要素あるによる場合が多いからである。アーサー・イー・ジョンソン教授はバルチモアーやワシントン道路の交通能力研究の結果左の如き斷案を下して居る。路上に何等の障碍なき時は各交通線路毎に一時間につき一千臺の車輛を通過せしめることが出來る。若し道路幅員を擴張するときは速度を自乘倍することが出來るけれども速度に制限ある場合には何等の變化をも來すことを得ないと。蓋し街路の交通能力が主として交通の潮流を障碍するや否やに因るものなることは上述の如くであるが、これ則ち交通量圖により指摘さるゝところの部分に就き特に交通障碍の如何並びに交通整理の問題を討究する要ある所以である。

ボーイ・スカウトにはトラック及び常用自動車の大體の分類以上を要求するは重荷に過ぐるものと考へられたので集計材料は完全なる交通調査と言ふことが出來ない。トラックと常用自動車との割合は一對十であつた。又記入濟のカードを檢するに調査擔當員により各種各樣にして亂雜不明瞭に記入したものも少くはあつた。不明なるものは街角及びカードの研究に依つて之を明かにすることが出來たけれど二三の街角は之を確知するを得なかつた。

調査に要したる費用は印刷費八十弗、調査擔當少年手當四百五十弗(一名五十仙)、晝食費二百二十弗、作表費四百二十八弗、タキシー及び自動費七十五弗、合計一千二百五十三弗であつた。但し之には指揮監督に要した費用を含まない。蓋し此の等はボーイ・スカウト本部費又は調査會費の一般庶務費中に入つて居るからである。兎に角本調査が交通調査委員會の研究上絶好の資料となつたことは事實である。若し此の調査なくんば到底交通の潮流及び其の方向の實相を知ることが出來ぬのである。そして此の事業によりボーイ・スカウトの仕事に對する精確さと、且之に信頼し得るに足るきとを證し得たのであるが、右は一に日常の訓練宜しきを得たる結果と稱すべきである。

臺北の公營質屋

社會事業の一ツとして近ごろ内地でもぼつ〳〵あちこちに出來かけて來た公營質屋は臺灣で一と足お先に失敬して疾くから存在してゐる之れは本誌に再三報道した通りだ爰にいふ臺北市營の公質はその中での尤なるもの大正九年開設以來利用者は益々増加する一方で三十五萬圓の現在の資本金では最う不足を告ぐるの盛況を見せてゐる此の公營質屋の門を潜る入質者は毎日百五十人から二百人近くを缺かしたことがないと云ふから繁昌思ふべしではないか金額にして二千圓から二千七八百圓見當、二階建上下各八十五坪の質倉には二萬點からの入質物がさま〴〵に所狹きばかり充滿してゐる『市中の民營質屋が束になつてもかなひますまいよ』と番頭さんおつと主事君の自慢話だ最近二箇月間の統計に現はれたところによると戸數千について内地人二百八十九人、五千六百七十九圓、臺灣人百十人、九百三圓で臺灣人の利用者が少いのは利用したくも必要がないのか一寸意外な數字を示してゐる然るに金額を見ると内地人は五圓以下が六百四人であるに臺灣人は約三倍の千七百三十人を示し五十圓以下になると反對に内地人が千三百四十七人で臺灣人は百七十三人に過ぎないソレから面白いのは入質物の種類であるが内地人は衣服類が殆んど全部であると云つても可いくらゐなのに臺灣人は貴金屬類が衣服類とほゞ同額を示してゐることだ斯うして觀察してみるとそこに面白い社會相が窺はれ質屋の統計もどうして萬更でなく何かの資料を提供する元來が下層金融機關と銘打つてはゐるが臺北あたりでは三圓、五圓と少額の借手は存外に少く兩三年間の貸出平均率から見ても十四圓乃至二十二圓といつたところであるそれもその筈で公質眼に映し出された入質者の多くはサラリーメン階級であるのだ。



大連市の社會事業計畫

高橋月南

貧弱極まる社會施設

日本內地における都市の社會事業は逐年發達し、その量においても、又その質においても、次第に進步し來つてゐる。政府も之が組織整備について絕えず意を致し、每年の地方官會議には必らず社會事業に關する奬勵的訓示がありその事務の打合せ又は協議會を開催して之が助長を圖つてゐる。大正十二年內務省において調査した日本全國の社會事業は、その統計の示すところに據れば、事業總數一千四百六十八種、この從事員三千六百七十五名に達する。今その統計を參考までに揭載する。

事業種類	事業數	從事員數
一般的機關	一一四	五六二
窮民救助	七九	二五九
特別救護	一四	一一五
醫療的救護	八八	七三二
經濟的救護	一九一	三五七
社會教化	四五	八九
兒童保護	三五〇	一、三八六
釋放者保護	五六三	九九
雜事	二四	七六
計	一、四六八	三、六七五

以上の內、東京、大阪の兩市最も發達し、京都、埼玉之れに亞ぐといふ狀態だ。然るに我大連について之を見るに市政十周年を迎えた今日にも拘らず、市の社會事業は實に貧弱極まつたもので、市役所直轄のものは僅に職業紹介所と簡易宿泊所があるに過ぎない。その他の社會事業が振はぬことは我が滿洲社會事業研究會が常に聲を大にして叫ぶ

通りである。そこで市役所でも今後は社會事業方面に數歩を進むる決心をなし、有倉調査課長を東京、大阪その他の重なる都市に出張せしめて調査する事になつたが、今度こそは幾らか具體化する事であらう。

職業紹介所の改善

大連市が是まで都市事業として最も必要なる社會施設に深い考慮を拂はなかつたのは、市理事者にこの方面の適任者を缺いてゐた爲でもあらうが、大連市自體が完全なる自治體とならず、都市事業の多くは滿鐵や關東廳において經營し、市の財源となるべきものが無かつた爲であらう。併し社會事業方面には幾らでも餘地がある。今や市制も形式的に全きものとなり、市としては都市事業の進歩を圖らねばならぬ事になつたから、市は先づ關東廳に對して小學校公園、市場、火葬場、墓地、屠獸場等の移管を申請してゐるが、差當り急を要するものは西廣場における職業紹介所の改築と改善である。これは移管事業の如何に拘はらず市としては當然急いで爲すべき事柄である。

現在のこの建物は木造であつて、モハヤ甚だしく腐朽し殆んど用を爲さない。數年前に改築の議もあつたが經費との關係で沙汰止みになつた。然るに職業紹介所は市の事業として必要なるもの丶一に屬し、取分け失業者續出の今日現在の如く求人の申込みを受けて單に求職者を紹介するといふ樣な遣方ではその職分を全ふすること能はず、隨つてその建物の改築と共にその事業の內容を改めなければならぬ。內地の職業紹介所ではその附帶事業として種々の設備をしてゐる。中央職業紹介事務局において日本全國における職業紹介所の附帶事業を調査したところ、紹介所の現在數は百十五であつて、其のうち附帶事業をやつて居るところは三十五箇所であり、さうして其の種類は十二種五十四に及んでゐる。今これを表示すれば

簡易宿泊所	二二	簡易食堂	八	賃金立替	四
授産場	四	內職紹介	三	副業講習所	二
少年職業相談所	一	人事相談所	五	法律相談所	一
無料代書	一	貸家案內所	二	案內所	一

然るに大連市立職業紹介所の附帶事業としては簡易宿泊所、人事相談、副業講習所位のもので、內地のそれに比し餘りに劣つてゐる。此頃は失業者の一部に石鹼の行商をなす者などがあつて、相當の成績を擧げて居るらしいが、單にさうした事ばかりで足れりとしてはならぬ。先づその腐朽した建物を改築し、同時にその內容を改め、附帶事業と

しては簡易宿泊所の外に簡易食堂、內職紹介、授産場等の施設をなし、以て大いにその機能を發揮する事にせねばならぬ。聞く所によれば、市においては既にこれ等の施設について考慮を廻らし居ると共に、改築後の職業紹介所跡は東京における自治館、大阪における市民館の如きものとし階上に大廣間を設けて專ら社會教育、自治教育に關する講堂に充て、尙ほ高尙なる民衆娛樂機關を備へやうといふ意嚮を有つてゐるさうだ。若しさうなれば職業紹介所はその一部に併置するか若くは他にこれを移轉せしむるの外あるまいが、市が社會敎育に注意し出したのは最も喜ぶべき事であつて、之れも甚だ必要な事である。

簡易宿泊所問題

職業紹介所內に置いてある現在の簡易宿泊所は、屋舍狹隘で、設備も甚だ整はず、多數のものを收容することが出來ぬから、別にこれを新築しやうとの議もある。市內に多くの旅館や下宿業者あるも、その料金は何れも高く、殊に失業者のうちで石鹼を行商して自活の道を講じてゐる者などは、市中の下宿屋にゐては經濟が立たぬから、斯樣なものゝ爲めにも內容の整つた簡易宿泊所を設ける必要がある

それで西廣場における現在の職業紹介所を改築し、それを廣く社會敎育方面に利用すると共に、その一部に紹介所を併置するとすれば、此の建物を四階位のアパートメント・ハウス式のものとし、ヤハリ此の內に內容の整つた簡易宿泊所を設けるのが一擧兩得でもあらう。尤も全然別にするか否かはまだ決定せぬやうだ。

中央市場の建設

現在大連市に存在する信濃町、山縣通、西崗子、沙河口の各市場は、何れも關東廳のものであつて、民政署の管理に屬してゐるが、世人周知の如く、是等の市場は公設市場としての資格を備へて居らない。公設市場は物價を調節して市民の日用必需品を低廉且便利に供給する機關であるのに、現在の大連の市場はさうなつて居らず、民政署はその建物を市場組合に貸與してその家賃を取つてゐると云ふやうな狀態である。殊に卸賣市場がなく、之を缺ぐため、小賣市場商人が各自てんでに生産者から物品を購入するので從つて價格も兎角不統一に流れ易いのみならず、萬一にも之等の小賣市場人が非賣的行動にでも出たら、生産者は忽ち立場を失ひ、消費者側の市民にも多大の不便と迷惑を感

せしむるは極めて睹易き事柄である。

そこで何うしても中央市場を大連市に設置する必要がある。卸賣市場としては一個の魚市場あるも、魚類だけに限られてある上に、營利會社たる水產株式會社が之を經營して居るところから其の價格が高いものになり、市民に不利不便を與へてゐる。大連市役所でも爰に鑑みる所あり、市の公營的社會的事業の一ツとして、中央卸賣市場を設置し蔬菜、果實、肉類、鷄卵及び魚類等の一切を卸賣すると共に、現在の市場が市に移管さるゝ時は、これを公設市場に改め、寺兒溝や山手町方面には更に小賣市場を設ける方針であると云ふことだ。その之れに要する資金は簡易保險の積立金を低利に利用し得るだらう。

公營質屋の新設

社會施設の必要を連呼し、社會問題、社會政策、社會事業に關する凡ゆることを論議、報道、研究、調査し且その計畫、立案をなせる我が滿洲社會事業研究會は、社會施設の一として嘗て公營質屋の問題を評議員會において審議した事があつた。然るに來年度より種々の社會事業に歩を進めんと計畫してゐる大連市役所では、以上記せし新計畫の外、この公營質屋をも設けたいと其の方面の調査にも着手した。本誌の再三報道した通り、日本でこの公營的質業の最も發達したところは臺灣であるが、東京の武藏屋を始め、大阪市にも、その他の都市にも近來この種の庶民金融機關が次第に整つて來るやうな傾向が見える。隨つて大連市にもこれを設けるのは寔にいゝ事だ。

大連市の庶民金融機關としては、營利的質屋、無盡講、賴母子講の外、信託會社の積立會などあり、又彼の高利貸があるのみで、而も是等の機關は庶民の弱點に乘じて之を喰物にするものが多く、信託會社にも怪しいのが多い。現に信託會社の破綻が市民の問題になつたと云ふ有樣である聞くところに據れば、市が有倉調査課長を内地に出張せしめたのは、他の一般調査と共に、此の公營質屋の取調べは最も主要なものであると云ふことだ。この公益的社會事業も簡保の積立金を利用することが出來る。

簡易住宅の增築

尙ほ以上の如き社會事業と共に簡易住宅を設ける計畫もして居る。大連市は村井市長時代に中央政府から低利資金壹百萬圓を借入れ、これを以て譚家屯方面と南山麓方面

とに市營住宅を建設したが、所在に空家の多くなつた今日でも、家賃の低廉な中流階級者以下の住ひに適當な家屋は缺乏してゐる、卽ち三十圓內外の家賃で住へる家屋は拂底してゐるから、借入資金の殘り三四十萬圓を以てこの種の簡易住宅を設けやうと云ふのである。

× × × × ×

此くして大連市が今や都市事業のうちで最も必要なる社會事業に數歩を進めんとして居るのは喜ぶべきことで、以上記述した社會事業はいづれも市營とすべき性質のものであるから、十分に調査計畫してその案を立て、來年度より是非ともその實現を期する事にして貰ひたい。市會とても固より異議を唱ふべきものとは思はれない。斯くなれば他の社會事業も自ら進歩するだらう。

奉天附屬地の住宅問題

田原漢東

最近奉天における緊急なる社會問題の一として取扱はれて居るのは住宅問題である。奉天の滿鐵地方事務所でも本問題に對し調査研究してゐるが未だその眞相を知るに足るべき資料とてはない。併し奉天附屬地の邦人が居住難に迫られてゐるのは事實で、而かもそれは財界好況時代におけるが如き邦人の增加による住宅拂底に因るのではなく、支那人及び露西亞人の移住增加が主たる原因である爲め、それ丈け一層邦人の神經を昂ぶらせるのである。或者はこの住宅問題を自然の趨勢に任せておけば附屬地における邦人の經濟的地盤は遂に崩壞するだらうとさへ憂えてゐる。蓋し愼重に考究すべき社會問題であらう。

露支人の移住增加

奉天の住宅問題を解剖し研究するには先づその直接原因

とも云ふべき支那人及び露西亞人の移住の動機を討檢せねばならぬ。我が行政治下に屬する附屬地内に支那人の居住を見たのは此の二十年來のことで、今更の事柄ではないが露西亞人が移つて來たのは彼の白軍若くは白黨の潰滅後である。尤も支那人にせよ露西亞人にせよ著しい勢ひでその移住者を增加したのは昨年來のことで、先づ前者について言へば、昨年の秋に第二次奉直戰が勃發して東三省各地に駐屯してゐた高級武官の出征を見るや、その家族は雲霞の如く奉天に移住し、その多くは當時到るところに空家だらけの附屬地へと腰をおろしたのである。その折の附屬地内の空屋は二百餘戸ばかりで有つたがそれが忽ち塞がつてしまつた。目先の利慾に走る家主共は、今まで持て剩してゐた家屋が移住支那人のお蔭でドシ〳〵金になる結果、或はその家屋を支那人に賣り飛ばし、或は不當なる家賃の値上げをなし、日本人の住んでゐた家屋でも、少しく家賃を滯らすものがあると、それを追ひ出してその後に支那人を住はせるといつた調子で、謂ゆるウオーヌングス・ヒュリタリズムの猛威を逞うしたのである。

その後、奉直戰爭の終焉と共に、これ等の移住支那人は當然前住地に引揚げるものと考えられて居たところ、引揚げたのは至つて少數で、大部分の支那人は引續き附屬地内に居住し、中にはこれを機會に日本人の持て餘してゐる家や東拓又は銀行の擔保に流れ込んだ家屋を買收し、これを日本人には貸さず、支那人と露西亞人とに貸與する者もある。そこに必然支那人の借家營業者も出來た。これと相前後して、露西亞ユダヤ系の商人は續々新市街(附屬地)に入り込み、或は店舖を設け、或は日本人の手にあまる樣な堂堂たる家屋に豪然と居を構へた。斯うした結果が家屋の拂底と共に家賃の騰貴となるのは當然で、そこに日本人の居住難を生じ、新たに附屬地に移住して來ても一軒の家さへ見附からぬといふ慘めな狀態を現出した。附屬地内における露支人の居住者がいかに著しく增加したかは左記の戸口數を見ても瞭然たるところである。

年別	支那人 人口	支那人 戸數	露西亞人 人口	露西亞人 戸數
大正十三年	一〇、〇六二	一、五四二	二一七	五五
大正十四年九月末	一三、一〇五	二、一一三	九四三	二三一

即ち支那人は人口において三千四十三人、戸數において五百七十一戸、露西亞人は人口において七百二十六人、戸數において百七十六戸を增した。露西亞人は殆んど四倍の增加だ。それ丈け、附屬地内の家屋は拂底し、家賃は次第

に騰貴し、目星しき家屋は露支人に占有され、日本人の居住がそれ丈けまた非常に困難となつて來たのである。住宅問題が社會問題化して來たのは當然だ。

排日と居住難の關係

斯うして奉天附屬地内における日本人の居住は困難になつて來たが、併し日本人の數が減つたわけではなく、多少づゝ增加してゐる。唯その增加率が低い丈である。今大正十二年六月現在と大正十四年九月末現在とを比較して見ると、前者の人口一萬六千九百六十人に對して後者は一萬七千二百三十一人、前者の戶數三千六百八十八戶に對して後者は三千九百十四戶といふ數を示し、卽ち人口において二百二十一名、戶數において二百二十六戶を增した。人口の增加が戶數の增加に正比例せぬのは、家族の少ない商業者が增加した結果で、これ等の邦人商業者は奉天城內その他の支那領土內に住つてゐた者である。彼等が何ゆえ附屬地に移住したかと云へば、それは東三省官憲の排日政策を喰つた爲めで、その排日政策は、日人に家屋を貸與すべからず、日人に土地を商租すべからず、之を犯すものは嚴罰に處すと云ふのであつて、それが本年四月以來殊に著しくなり、その結果、省城及び商埠地に居住する邦人は安全地帶たる我が行政治下の附屬地に轉住して來るのである。支那の官憲が日本人に土地を商租するな家屋を貸與するなと國際の情誼を無視した事を敢てするに反し、日本の行政治下たる附屬地には盛んに支那人の移住を見、これが爲めに日本人の居住難を釀すに至つたと云ふことは、實にこの上もない不合理千萬な事柄ではない乎。

東三省官憲の排日政策は、極めて辛辣であり、又極めて陰險であるため、大正十二年頃まで省城内の居住邦人三千餘名であつたのが、最近には僅に四百餘名に減じた。前記の如く、附屬地内における邦人は人口も戶數も露支人より優つてゐるが、その增加率は甚だ振はず、加ふるに支那官憲の排日を喰つて附屬地に轉住し來るものが多いのに、その附屬地の家屋がまた露支人によつて占められ、遂に居住難を感ずると云ふに至つては、實に是れ由々しき社會問題ではない乎。移住者の增加につれ、家屋が新たに增築されると云ふことであれば、その居住難も幾らか調節されるわけであるが、財界不況の今日、建築界は殆んど睡眠狀態といふ次第ゆえ、何としても手の付け樣がない。尤も是まで工事中途で放棄されたものが支那人側の出資で一部完成し

他にも多少の建築を見ないでもないが、この位なことで此の住宅問題の解決は出來ないのである。

問題上考慮すべき要點

　更にこの住宅問題について考慮すべき一事は、支那人の財閥が附屬地內の土地家屋に投資し、それを支那人に占有せしめんとして居る事である。元來附屬地の借地權は日本人のみに限られ外人には認められて居ないのである。たゞ吉林督軍張作相と黑龍督軍吳俊陞と鄭師長の三人だけが特に住宅用地として支那人名義で土地を借受けてゐるに過ぎない。然るに張督軍の如きは一部の日本人と結托して日本人名義の土に盛んに土地や家屋を買收してゐる。この以外支那人の財閥（高級武官は同時に財閥なり）にして附屬地內の土地家屋を買收するもの多く、これを買收するに方り表面を日本人の名義になし、その實資金は支那人から出し東拓や銀行の擔保整理のため競賣に附せられた家屋を手に入れ、更に日本人のうちで基礎工事を施したまゝ建築する資力のないものゝ土地を買收し、又はそれを借受け、そこに家屋を建築して、それを支那人又は露西亞人に貸してゐる。名義人が日本人であるから、滿鐵としても表面上これを何うすることも出來ず、領事館の不動產登記も完全に行はれるのである。如何に滿鐵が都市住宅の自衞的調節を計らうとしても、名義人になる日本人のある限り、それは先づ殆んど不可能といつて可いのである。

　斯うした手段で支那人の手に歸した家屋は、その實數を知ること能はざるも、決して少數ではない。それ等の家屋は、その實權を握つてゐる支那人の自由に支配し得ることゝであるから、例の排日思想で、日本人には殆んど貸さない之れがまた附屬地內における日本人の居住難を深刻ならしむる一原因である。東拓又は銀行などの金融機關は、抱き込みの不動產を整理するため、時々家屋を競賣に附してゐるが、それが斯かる結果を招ぐと知つて居るか何うか、知つて居るなら、日本人の居住難といふ社會問題に對して相當考慮する所があつて可からう。自己の營利主義に囚はれ斯うした社會上の問題に一瞥をも拂はぬのは、由來彼等の常態で、そこに資本主義に對する咀ひの烽火が揚つて來るのであるが、植民政策の上から云つても、斯様な利己主義は間違つてゐると考へられる。そこで、奉天における一部人士は、奉天に純然たる不動產銀行を設立して東拓の不動產貸付約一千萬圓を引受け、以て大いに滿蒙に對する日本

移民の發展に資すべしと唱えてゐる。

住宅問題の根本策

奉天の住宅問題が社會問題として取扱はるゝに至つたのは、以上の如き次第であるが、吾々の見るところを以てすれば、滿蒙における日本の住宅政策が根本的に誤まつてゐると思ふ。英國は海外到る處の植民地にビルディングやアパートメント・ハウスを政府の手を以て若くは政府の補助の下に建築し、これを本國よりの移住民に低率なる家賃で貸與してゐるが、日本の滿蒙移民政策にはそんな所がない。滿鐵は沿線重要地に大小の家屋を建設するも、それは主として社員用に供するもので、一般邦人とは無關係であるから、之に多くを期待することは出來ない。

政府は東拓會社を滿蒙に進出させ、不動產資金を供給さ**せて居り、奉天のみでもその貸付金額一千萬圓に達するもそれは單に金融する**だけで、利率も決して低率とは言へず別に國家的の補助若くは獎勵といふやうな特典は行はれて居ない。東拓としては、財界變動後の整理として、土地、家屋、その他に對する巨額の固定資金を處理せねばならずそれから採算に關聯を來した家主の處分をもせねばならぬのであるから、家屋を建築費に充たぬ價格で競賣又は轉賣するのは已むを得ないが、その結果、これ等の家屋が支那人の手に占有されてしまふのは一問題である。奉天における家屋の大部分が東拓又は銀行の擔保物件となり、實權がそれ等の手に移つたのは、一面滿洲の邦人事業家が虛業熱に浮かされて何等の成算もなく一時的の土地家屋熱に食傷し、投機的に家屋を建築した報ひなるも、さりとて苟くも特殊使命を有する會社が餘りに營利に偏し、その結果如何を考慮しないで、ひたすら不動產の整理處分をなすと云ふことは、社會上大いに考慮すべき事であると思ふ。併しながら東拓に向つて「滿蒙に對する邦人移住の住宅供給機關となれ」と注文したところで、それは要するに不可能であるから、何うしても別に不動產銀行を設けて將來に備えなくてはならぬと云ふのが在奉邦人有志の聲である。最近地方委員に依つて滿鐵の政府上納金を廢し、その資金によつ**て不動產銀行を設立し、仍つて以て住宅問題を解決せよと**の提唱とその運動が試みられて居るが、それが若し實現したならば、刻下の社會問題として邦人間に憂えられてゐる奉天附屬地內における日本人の居住難も、或は案外容易に解決する時期が到達するかも知れない。

次は建築法の改善

次は建築法は改善である。奉天の新市街は、奉天驛を起點として放射線狀の大路を形成し、これを一等街より四等街にまで區別し、家屋は各等街共に一定した建築規定に準じて建てさせて居るため、土地は至極經濟的に利用されてゐる。だが元來奉天の附屬地面積は總坪數百八十二萬四千百二十八坪で、その內、道路、公園、工業用地、停車場用地に十分の四內外を使用され、さうして住宅建築用地はその十分の六以上と規定されてある結果、實際の家屋建坪は總面積の十分の三位である。此の限りある土地に限りない人口を收容すると云ふは、要するに不可能な事で、既にこれが爲めに市街地の大部分は貸付を了し、新たなる住宅地貸付はこれを中止して居るといふ狀態である。滿鐵は商埠地や民有地の買收に努め、今日までに相當の面積を買收しこれを工業用地に振り當て、現在の工業用地を市街地に編入する計畫を立てゝゐるが、現在の市街は附屬地面積をスタンダードとして計畫したもので有るから、さうなつた曉には、變な市街地が出來上るわけである。

僅かの工業地區を市街地に編入したところで將來の增加人口を滿足に收容することは出來ない。東三省の官憲が前述の如く支那領土內の邦人居住者を壓迫し驅逐し、彼等をして已むなく我が行政治下の附屬地に轉住せしむる傾向が濃厚とならば、その居住難を緩和するが爲め、今後の市街地使用法と家屋の建築法を改善するの外に策はない。奉天の社會問題として燃え上つた住宅問題は、一般家庭向きの住宅、卽ち平屋建の少いことがその一原因であるが、併し土地の經濟的利用と云ふ意味から見れば、一等街の二階建を三階若くは四階にし、平屋建を二階建にすることが必要である。奉天の市街はモハヤ立體的に上の方へ伸張するの外ないのだ。それが刻下の狀勢である。

それから現在の工業地には滿鐵又は不動產銀行等が五階乃至六階建のビルディングか、庶民階級の住宅用としてアパートメント・ハウスを建設することにせねばならぬ。滿鐵は從來專ら商埠地を買收し、斯くして附屬地の擴張に努めて居つたが、最近はこの買收も餘ほど困難になつて來たこの點から考えてみても、附屬地內の家屋は今後これを立體的に伸張し、さうして市街の發展と人口の收容に資するところが無くてはならぬのである。

社會問題彙報

謂ゆる細民なるもの丶程度

東京市内に於て現在細民と稱されてゐるものは九方面區に（麴町、日本橋、神田、牛込、赤坂、麻布の六區を除く）約六萬九千人ゐる此の人々は何れも五十圓以下の月收で家族五人以上を抱擁するもので日常の生活に頗る困難を感じてゐる者である若しこれらの人々の家庭に病人など出來た場合は無料でこれを市立病院に入院させまたは無料で投藥する事となつてゐた處が最近數年間諸物價の騰貴と打續く不景氣から月收五十圓以下にして五人以上の家族を有するもの許りでなくそれ以上の月收あるものに對しても病氣災難等の場合何とか救濟の方法を講じてやられはならなくなつた。これなどの程度まで伸長すべきかに就いて過般來内務省の社會局と保健局とで相談中であつたがその結果現在の諸物價の價格に鑑み先づ月收百圓までのもので家族四人以上を抱擁するもの即ち月收を全家族に割り當て一人當り二十圓以下となるものは之を細民と見て差支へあるまいと云ふことに大體意見の一致を見たので近くこの方針の下に調査研究をする事となつたから若し右の樣なことに決定すれば謂ゆる腰辨で多くの家族を擁して常に生活苦に襲はれてゐる官公吏も右の恩典に浴することが出來る譯であるがしかもその實施の曉は救助を要するもの丶數が非常に増加するので若し多數の病人が出た場合現在の市立病院だけでは到底收容しきれぬので今から當局はその對策に頭を惱ましてゐるとの事である。

大連に在る滿鐵の公園改造

滿鐵地方部についてその經營せる各公園の近況を聞くに電氣遊園は本年夏期博覽會の第二會場となつたので當時園内メリーゴーランドの修繕、植物温室の改築をなし東北境の地ならし等に相當費用をかけた場内に設けし滿鐵館は一時暫く保存してはとの意見もあつたが元來之れはほんの一時的の建築であり閉會期頃には已に外壁の剝落等を見たので取毀すこと丶なつた來年四月には豫定通り簡易圖書館は現在の登瀛閣建物に移轉して日支兩國人に便利よく別々の設備を有する新圖書館となるソシて丘の頂上は現在の圖書館並に滿鐵館等を取除いた跡を一面の廣い芝生とし又舊スケート場跡にある現在の小兒遊場は來年度更に擴張し遊戯機具もずつと増置して日支兩國兒童に公平に且滿足を與へるさうである。

その下の地も目下は水道の水を用ゆるため一噸五十錢の高價であるので充分の設備が出來ないが來年度には何とか安い水を得るやうにと考案中である又正門を本年地ならしゝた東北面に移しそこから左右及び中央に三本の遊歩路を設け從來閑却されてゐた北邊の櫻の並木道の遊歩に便する豫定になつてゐる尙ほ北公園の新事務所は已に略竣成し目下移轉中である舊建物並びに舊園時代よりあつたテニスコートは取除いて、この冬には小兒のための練習用氷滑場を作り又園内で目下利用してゐる動力喞筒の成績が頗好であり噸二錢五厘の安價で水が豐

當に得られるから來年は池を更に擴大する筈である猶ほまた星ヶ浦公園内には本年は十六箇の水道栓を設備して並木や芝生に供給したが來年度はホテル横の凹地を仕切つてこれを池となし更に同所の井戸を手入れしてそこに貯水を豐富にし附近一帶を大綠林と化する計畫だとの事である。

惡三百と惡代書業者の取締

惡三百の跋扈については當局でも永い間の懸案として頭を惱ましてゐるところだが最近不景氣のどん底に陷ると共にますます羽を伸ばしその筋の眼をくゞつては凡らゆる訴訟或は司法事件の仲裁和解に介在し巧みに辯護士の上前をはねてゐる以外に債權の取立或はゆづり受けによつて惡辣な手段をめぐらし一家の祕事を知つて恐喝がましく金品を巻上げ甚だしきは執達吏の差押へ執行に先だち消極的に公務の妨害を企てるやうな事さへあつてこれがために泣かされてゐるものが世間には隨分多く大阪府警察部でも夙に此の間の消息を推知し何かと取締方針を考究中のところいよいよ警察令をもつて世に害毒を流布する惡三百の跋扈跳梁を十分戒めることに決定した。

大連署管内でも惡三百と共に代書業者は依頼者の事情に通ぜざることゝ弱味とにつけ込み不正を働く手輩が非常に激增した殊に規定以上の料金を要求受領し依頼者からの委託文書を正當の理由なく製作或は遲延し又は代書事件簿に出鱈目の記載をするとか全然記入を怠るなどは一茶飯事で甚だしい惡辣なものになると訴訟事件又は他人の紛議に干與する等まるで三百代言そのまゝを敢へてする向きも決して尠くない所轄大連署ではこの惡代書業を掃滅する目的で大大的に調査の歩を進めつゝあるが第一に市內佐渡町二六不正代書業澤敬信が槍玉に擧げられ司法當局者によつて嚴重取調べられたその理由とするところは紀伊町二五松本俊男が長男俊次の出生屆を昨年二月敬信に書類の依頼と同時に本籍地村長宛その發送方を委託したところ敬信は料金を受領したにも拘らず該手續を今日まで放棄してゐた事實が今度次男俊三の出生屆を依頼するに當つて發見されその訴へにより斯くは告發に至つたのだが代書業者間における不正行爲として是などは九牛の一毛に過ぎないので將來は一般依頼者保護のため徹底的に取締る筈だと當局では語つてゐた。

サラリーマンユニオン組織

月給取り階級はどう云ふものか從來何處の國でも本當の團結を持つたことがないそのうへ當の筋肉勞働者達からはブチブルだと毛嫌ひされて來たのであつた然るに今度大阪の商業使用人の中に非筋肉勞働者組合組織の議が起りソレがまんまと首尾よく成功して十月中に中ノ島公會堂で二百餘名の商業使用人組合發會式を擧げた。

其後京都キネマ從業員組合（約二名）神戶サラリーマンユニオン（約百五十名）等の既存同傾向の組合との間に全國的なサラリーマンユニオン組織の相談が具體化し最近東京に出來た東京市電氣局職員同志會（六百名）も之に加はることになつたので愈々全國的サラリーメンス、ユニオン結成の發會式を京都で擧げたそして着々その組織準備を大阪使用人組合事務所で進めてゐるが既に綱領の草案まで用意されてゐる（一）安價なる虛榮と隷屬的羈絆とに目覺め相互扶助の精神と階級的自覺に基く團結の威力に

依り吾人の經濟的福利增進並に人格の獨立を期す（二）無產階級的團體と相提携しさうして大いに人類生活の意義に叶へる新社會の建設を期すと云ふのである。

略終了した滿鐵の生計調査

滿鐵社會課の生計調査は各種項目とも漸く精算を了し年内中に調査報告書の編纂を終ることになつた是に就いて調査係員は語る「大正十三年十月一日から十四年二月末日まで半歲の生計を沙河口工場（工場職工）近江町（本社其他の事務員）日の出町（埠頭現業員）等の居住者に就いて調査した身分的に見て收入月收五十圓以上二百五十圓以下のものは家族數から見て單身者を除くことゝして二人以上八人以下の家族とし約三百世帶を調査の豫定數としたところ募集の結果三百六十四世帶となつたが細大洩らさず毎日一定の帳簿に收支を記入するのは相當煩雜であつたと見え六箇月の終りまで繼續して記入を完了したもの二百三十名になつた猶その内多少の缺點を發見したものは當然これを除外した上で二百一世帶を完全と認めることが出來たのでそれを各項に分類して調査して來たのである。

大體に於て收入を第一收入、第二收入、第三收入と分け第一收入（世帶主收入）を基本收入、特種收入、第二收入を家族收入第三收入を借入、入質、實物收入、貯金引出、財產收入その他等に分類調査し支出は第一生活費、第二生活費、第三生活費と分ち第一生活費を食料費、住居費、衣服費、公課費、第二生活費を教育費、保健衞生費交際費、第三生活費を貯蓄、嗜好、娛樂費間食費、交通費、給料、辨濟、雜費等に分類調査したのであるが是等に依つて既に世帶主別收支表、月收別收支表、家族數別收支表年齡別收支表兒童數別收支表の作製を完了して居る十一月中に以上の比率の算出を終る筈で是れが濟めば一先づ本調査を終了しその結果の報告書を編纂するのである本調査は既に早くなされて居るべき性質のものである人間社會に起る問題は一つとして直接間接に生活に關聯せざるものはない從つて生活狀態の闡明に依りて獲る實益は廣く且つ大である本調査は滿鐵社員がその收入に依つて幾人の家族を扶養して果して如何なる方面に如何に消費しつゝあるか又その收入は全收入の幾割を占め他の收入を必要とするや否やその受くる收入は相當生活を營むに足るかどうか慾望充足は何れを第一義とするか又衣食住には如何に費しつゝあるか其の比例如何といふ樣なことを知つて種々考慮を拂ふに便りであるばかりでなく一般に生活上の好參考資料たり得ると堅く信ずるものである」云々。

養老年金保險制の創設計畫

遞信省は社會政策的見地から動產火災保險の創設を計畫し來議會において是が法律案を提出せんとして目下之れに關する諸準備を急ぎつゝあることの事であるが更に又同じく社會政策的見地から養老年金保險の創設を目論見早くから極秘裡に是に關する調査を進めてゐたが此程これに關する成案を得て既に省議決定を見たる模樣であるが之が內容に就いては一切説明を避けつゝあるためそれを詳述するの自由を許されて居ないが聞く處によれば遞信省の計畫による養老年金保險は老後の生活を安易になさしむるものが目的であることは今さらこゝに改めて記する迄もなくその年齡は先進國の例に

倣つて七十歳と定めて居るさうだ。

右の年金保險は被保險者が七十才に達すれば七十才以後は毎年一定額だけを年金として支給するものであつて其の支給額は掛金の多寡に依つて相違するものであるから掛金が多ければそれに從つて支給される年金も多くなるものである事は勿論であるが保險者が七十に達せざる中に死亡する場合は原則としては掛金は掛け捨てになるものである遞信省の意嚮に依れば若し被保險者が七十に達せざるうち死亡する場合は掛金の一部か或は掛金に利子を附加したるものを拂戻す事となすか何れにしても被保險者の爲めに有利なる方法を定むる事とすべき事は勿論であると仍つて被保險者において七十歳以上更に長命を保つ場合は其の生命の存する限りは年金の支給を受るものであるから老年にして生活の保證者はなくとも安樂に生活を樂しむことが出來るわけで社會政策的に見ても頗る注目すべき計畫でなければならぬ然しながら是が實現に當つては更に講究すべき餘地存ずるが故に遞信省としてもその計畫に就いては秘密裡に調査計畫を進めてゐると云ふことだ。

大連職業紹介所の移轉新築

大連職業紹介所が創立されて以來未だ數年に過ぎないのにその利用者は年々増加して事務員の不足、廳舍の狹隘等が常に有識間に唱導され爲めに先年伏見臺小崗子天后廟附近に移轉の議成り將に實現されさうな形勢にまで進んでゐたところ經費やその他各種の事情に阻まれて遂に實現を見なかつたその當時さへ既にその要を認めるに充分な理由があつたのであるが今試みに職業紹介狀況を昨年と比較するに一月一日から十一月十日までの累計に於て昨年の求人數一千二百九十一人であるのに本年は二百七人を増加して一千四百九十八人を數へ昨年の求職者二千五十五人に比し本年は百四十五名殖いて二千百九十名に達してゐる之れ等求職者中就職したものもまた昨年は六百二十六名であつたが本年は七百三十三名を算して百七名の増加を示したのは如何に同紹介所の事業が一般人によく理解され利用され來つたかを知るに難くない。

同所附帶事業中の第一にあぐべき簡易宿泊所も近來毎日滿員續きで二十八箇のベットに泊めきれず餘儀なく數名づゝを毎晩謝絕してゐる有樣である更にミシンを始め編物、茶の湯、生花、習字等の各講習は時々報ずる如き盛況を呈してゐる尤も代書、人事相談、借家周旋、結婚媒介等は比較的取扱ひ件數少きも之など漸を追ふてその數を增しつゝあるは事實で正に同所擴張の時期は迫り是非とも工面してその內容を充實させればならない事になつた仄かに聞けば電園下大連語學校附近に地を相して新築の計畫が建られたとも聞いてゐる。

男に成りたいと云ふ女學生

「女學生の近代思想について考慮すべき事項」に對し東京府立第一高女の校長市川源三氏はこんな意見を發表した『娘を持つ父兄は特に考ふべきことだ研究の內容は市川校長が女學生の思想問題について山梨、和歌山、門司等の各女學校と連絡を取り研究したところ意外な傾向の流れを發見した憂ふべきその傾向―それは女學生が社會の缺陷の跡を追ふて女性の女性たる地位をいとひさうして男性への變態の欲求者が最近非常に多くなつたことである。

そこで女學生六百六十名について（一）男になりたいか（二）女になつてゐたいか（三）右の理由の三問題を出して試みたそして嚴密な調査を行つた結果は（一）男になりたい二百卅六名（二）女でゐたい百三十六名（三）或る時は男また或る時は女でありたい二百八十八名と云ふ數字になつて現はれた、その中で一番突飛な「男になりたい」と云ふ者の理由はたゞ「戰爭に行きたいから」と云ふのが多かつたと、之れに就て市川校長は『これは女性にとつて頗る危險な傾向であつて元來女性は人類平和の象徴であるのに鬪爭を好み女たることを嫌ふことは女性の美しい性質を破壞するものであるこれは取りもなほさず現代わが國の社會が彼女達をこんな思想に導いたもので全く社會の罪と思ふ』と。

生産と販賣機關の共同經營

大阪府では府下の農業經營上の根本的大改造を行ふために擧れて各方面における農業關係者を網羅して大評定を試み諸般の重要な施設計畫の方策を審議決定したが府當局ではいよ／＼その決定にもとづき農業改造の根本要件である生産ならびに販賣機關の共同經營を實施奬勵することに決した生産方面の共同經營としては各郡に反別十町歩以上の模範的共同經營地を二箇所くらゐづゝ指定し專門技術員に實地指導せしめると共に府費の補助規則に改正を加へ從來の人力用農業器具に對する補助を廢しその代りに動力用農業機械器具に對しては補助率を增加する外新たに共同經營にかゝる農場の作業所に對しても補助金を交付することゝし模範農場（共同經營）の具體的經營方法決定のため現に府下において行はれてゐる共同耕作地の實狀は已に調査したが更に全國の共同耕作地の調査を行ふたうへ十分研究を重ねて完全なる具體案を作つて當業者にそれ／″＼示すことゝなつた。

生産物の販賣方法に對する共同經營については根本策として出荷組合を組織する筈であるこれまで出荷組合のないために農家の蒙つた損害は隨分大きいので出荷組合を組織し生産品の檢査を行ふてその統一を期すると共に等級を定め東京の市場などに對しては常に出張員を置いて需給關係相場の如何などを刻々報告せしめて連絡をとると同時に取引上の監視をさすことゝし單にレッテルの信用で大量の生産物が有利に敏速に販賣せられるやうにする筈で農産物中米については既にこの機關として農業倉庫の施設があるから主として果實、花卉、鷄卵などの副業生産物に對して組合をつくる計畫である猶ほ一大消費場たる大都市を控へてゐる大阪府下では生産物の消費力を一層增火せしめ得る餘地が多いからこの目的で最近組織された畜産組合のほか果樹の村、花卉の村、養鷄の村をつくり生産を盛んにして安價で優良なものを簡單にどこでも市民が買ひ得られるやうな方法を講ずるさうして府當局では斯うした根本政策遂行上の原動力たらしめるために熱心な自作農と農業方面の學識經驗ある者を選んで農業委員會をも近く組織する方針であると。

謬まれる育兒法の好個適例

愛の乏しい家庭の子供に不良少年が多いと言はれてゐるが、餘り嚴格に過ぎた爲めに反つて子供の精神が惡化した例が澤山あるその好い例として最近の話であるが或る子供の父親は子供を甘やかして育てゝは

の未來がよくないと云ふので子供を叔父の家に預けたのであるそこでは頗る嚴格一方の教育を施されて子供もしつかり育ちつゝある樣であつたが子供は内心冷たさを感じたものらしく如何にも淋しい面持ちに見江たそして何か買つて貰つても丁寧な御禮を云はればならなかつた勿論お金なぞは自由に貰へるわけが無かつたので時に何か買つて貰ふと嬉しさが込みあげる一方にお金の有難味を痛切に感じたのである。

その後その子供はもつと嚴格に育てやうと云ふので或る熟に入れられたがそこでは一層嚴格一方であつたので遂に堪へ切ないで塾の金八十圓あまりを盗み出して行方をくらまして終つたそして見物や買食ひに費消してゐたけれ共やはりそれでは滿足出來ず金ばかりあつても有難くない事を知つたそのうちに二十四五の親切な男につれられてその家で暮す事になつたがその男はなかなか俠氣があつていろいろ身の上の話などを聞いて世話をしてくれたので少年は初めて愛の温さを知つたのである今また少年は社會を萬事金の世の中と思つてゐたのであるが今初めて愛の有難い事を知つて持つてゐた八十圓をその男にあづけて絡つた處が幸か不幸か此の少年に愛の温か味を知らした男は不良少年の團長であつたそして母親が子供を連れ歸つた時は何時の間にか不良少年になり切つてゐたのであるそこで母親は初めて嚴格な教育ばかりで愛が無ければいけない事を知つたがもう追つゝかないと云つてゐた詰り嚴格なだけで温か味に乏しいと子供の心は妙にひがんで卑屈になり勝ちであるが之れによつて見ても佛教でいふ慈悲も基致の愛も孔子の仁もその温かさの有るとないとは子供を圓滿に育てるに一番缺かされないものと思はれる。

滅切り殖ゑた大連の犯罪數

最近著しい現象として日本人の犯罪者が多くなつたことは爭はれぬ事實で大連市の如き日支人雜居の地において之をみるは慨かはしい次第であると冒頭しつゝ大連警察署木村司法主任は語る『大正七八年頃の謂ゆる好景氣時代に於ては何んと云ふても犯罪事件が少かつた大連署の留置場などにも日支人合せて廿名内外の者がゐるだけで其のうち邦人は一名乃至二名に過ぎず邦人の犯罪といへば警察當局者でも珍らしいことゝし日々の新聞紙上などにも微細なものまで掲載されたのであつた然るに昨今世間が不況のドン底に陷るや常に留置場は大入り滿員で二三年前から增築をさへ盛んに唱へられる程の有樣になつた之等の犯罪者の内大部分を占めるのは勿論窃盜であるが昨今五十名内外の留置人中常に約その半數が日本人であるといふ悲しむべき狀態にある。之れに就いての理由は勿論一樣でないが最大原因は時節柄の不況の崇りであること言ふまでもない一旦罪を犯し投獄されたものに對し如何に口を酸くして訓戒してもモハヤ前科者として社會から嫌はれ常人にも擯みが出來て眞に改心するものが百中の一にも過ぎないのは事實である須からく先づ罪を最初から犯させないことに努力せねばなるまい之れにはどうしても失業者に何等かの職を與へると云ふことが第一であらうそして監獄内に於ける待遇を惡くし懲役たり苦役たる文字通り眞に苦み懲りるものとせればなるまい殊に日々拘引される前科者が入監を左までの苦痛とせず稀には喜んで來るものさへあるのは憂ふべき事だ。

暴力取締

◆左傾思想に對し右傾思想が擡頭するのは當然だがその右傾思想家のうちに『忠君愛國』を看板にして暴行脅迫を能事とする者があるのは不都合千萬だ◆近ごろ我が內地に發生した『暴力團』のうちには斯樣な羊頭狗肉的のものがあるので政府では內務、司法兩省協議のうへで其の暴力取締法案を第五十一議會に提出するさうだ◆斯んな儕輩に『忠君愛國』を擔がれては『忠君愛國』の值打がなくなるのみならず斯うした右傾思想的行動は左傾思想派をして益々極端に走らしめる迄で碌なことはない◆結局は血で血を洗ふやうな事になつて社會を殺伐的にし世の中を殺風景にし腕力と鐵拳とが人類社會を支配する主上力になつてしまふ◆フロシアを中心にドイツ帝國を建設した偉人ビスマルクの『鐵血政略』は一種のミリタリズムで有つたが竟にその終りを全ふしなかつた◆今日イタリーで羽振を利かして居るファスチストは暴力を以て共產主義者や極端な社會主義者を鎭壓したがソレは一時の權道で飽まで暴力を主體としたものではない◆我が日本に『暴力團』が發生したのは此のイタリーのファスチストに刺戟された點があり隨つて其の『暴力團』の多くは右傾派だ◆その右傾派が眞實に『忠君愛國』を信條として國家的見地の下に行動するので有るならば多少の脫線も恕すべきであるが無暗に腕力や鐵拳やピストルを振廻されては危險千萬だ◆この『暴力團』のうちには一ころ內務省の指導の下に作られた俠客仲間の一團もあり暴行脅迫を能事として他の生命、身體、自由、財產に危害を與ふる不逞團もある◆彼の『赤心團』なども其の一ツであり『黑龍會』が前年帝國ホテルに猛者連を闖入させて折ふしダンスに夢中になつてゐた軟骨男女の荒膽を挫いだのは痛快な點もあつたが此の會からも脫線家や無法者を出すやうだ◆そこで政府が第五十一議會に提出すると云ふ暴力取締法案なるものは目的が『忠君愛國』であつても其の行爲が暴行脅迫である以上はその行爲者を體刑又は罰金刑に處し『暴力團體』に對しても嚴重なる取締りと制裁を加へ樣といふにある◆一方から看れば現行刑法の改正とも見られ他方から觀れば治安警察法の改正とも思はれるが要するに兩法律の不備をこの法律で補ふと云ふのであつて極めて當然な措置である◆家庭においても其の腕白小僧に對し時々お父さんの拳骨が飛ぶ時あり學校にも『鐵拳制裁』なるものがあり道理や情義で通らぬ場合には毆り合ひの喧嘩も行はれる世の中◆況んや言

論を以て相爭ふべき議政壇上に熊公八公的の暴力鬪爭がある世の中に『暴力制裁』の眞理を說く者があるのは不思議でない◆お隣りの支那では今でも軍閥の武力鬪爭が繰返され仲間同志で打ち合ひ叩き合ひ毆り合ひの野蠻騷ぎが平然と行はれてゐる◆鬱陶しいお天氣の後には『霹靂一聲』といふ奴が起り大自然の力も前年の帝都の大地震のやうに天柱折れ地維缺くといつたやうな恐ろしい破壞的暴力を逞うする◆隨つて吾々人類社會に『武力』の必要なることは論を俟たぬところで道理で行かず情義で行かぬ場合には最後の決を武力に愬ふるの外ない◆しかし現代の進歩した國家の武力は消極的には護國を目的とし積極的には破邪顯正を目的として居る◆武力も暴力の一種だが此の暴力殊に近世の進歩した武力は必ず目的をこゝに置き濫りに戈を弄して武を瀆し『兵は兇器なり』の古人の戒めを破るやうな事をしない◆要するに武は戈を止むるが爲めの最後の力で平和がその究竟目的であるから公安を害し秩序を紊り社會に不安を感ぜしむる樣な暴力とは勿論その性質を異にする◆然るに今日の『暴力團』の多くは前記の通り羊頭狗肉的のもので暴行脅迫して妄りに他の生命、身體、自由、財産等に危害を加へるので有るから政府がこれを取締るのは當然だ◆斯樣な正義と公理に合致しない暴力を跋扈せしむる時は日本にも支那の土匪や馬賊のやうなものを發生せしめ生民は一日といへども其の堵に安んずることが出來ぬ◆自由黨の全盛時代には政界の色めく每に壯士の暴力が演ぜられ當今はそれに代つて勞働者や農民がせつぱ詰ると直接行動といふ暴力にあらずして而も一種の暴力を用ふる樣になつた◆暗殺は何處の國にも今尙ほ行はれる暴力でこれは主として時の勢力家や富豪を倒すのを目的として居る◆斯う觀て來ると暴力を絕對に防ぐことは不可能に思はれるが名を『忠君愛國』に藉つてジゴマ式の暴力を敢てする團體や不逞漢は徹底的に嚴重に取締るべきである◆まだ道理と情義で相對する餘地があるにも拘はらず江戶ツ兒のやうに『べら棒め糞でも喰え』と言つて直ぐ拳骨を飛ばすやうな亂暴者も公安維持のために取締らなくてはならぬ◆野蠻人の社會にも同族間には滅多に暴力を用ひず武器を執つての暴力は他の種族や他の部落と輸贏を決する場合に限られて居るソレは臺灣の北蕃タイアル族の社會狀態を見ても分る事なのである◆されば文明人の社會に右傾の左傾のと云つて暴行脅迫を能事とする『暴力團』や不逞漢が跋扈するのは文明のために耻づべきことだ。

隱くれた尊い力

◎舞臺の上で踊つて見せる役者ばかりで芝居は打てない芝居の裏には色んな隱れた力が潜んでゐる◎その中には狂言作者もあらう經營者もあらう振事師もあらう舞臺を作る道具師もあらうと云ふものだ◎政治も軍事も經濟も表立つて花々しく働いて居るものばかりで出來るものではない其の中には名もない民衆の力が含まれてゐる◎資本家のみで産業は發達しない勞働者の力が加はつて始めて生産事業が進むのだ此の隱れた力を無視すると事が面倒になつて來る◎今日は日本の婦人にも國家や社會の表に立つて働くものが出て來たが元來日本の婦人は蔭に隱れて而も大きな力を捧げて來たのだ◎内助の功とは斯かる婦人の力を言つたもので此の內助の力があつたればこそ男は表面に立つて思ふ存分に活動することが出來たのである◎男子のため一家のため子供のため婦人は斯くするものと心から信じて喜んで椽の下の力持ちをしたとすれば是程尊ぶべき事はない◎ト云つて婦人は總べて斯くあれ國家や社會のことに表立つて働くなかれと申すのではない◎己れを修め家庭を齋へその餘力を以て公心と誠意の動くがまゝに之れは婦人のすべき事であると信じて社會的に働くのは立派なことだ◎だが何事にも隱れた力はあるもので其の隱れた力がなければ政治でも軍事でも經濟でも社會の事でも滿足な歩みは出來ぬのである◎椽の下の力持といふ事は犧牲の意味になるし犧牲獻身の精神を持つた者でなければ成し難い事であるから實に尊い力である◎之を是れ思はず此の隱れた力に依つて築き上げられた舞臺の上で一人よがりの舞踊をしたり勝手な眞似をしたりするのは不埒千萬と云ふものだ◎民智と民力の進まなかつた昔は斯んな思ひやりのない亂暴者が出ても下積みになつて隱れた力を出してゐた民衆は默つて居たが民智と民力の進んだ今後はさう參らぬ◎强者の權力が濫用され特權階級の人々のみが獨りでいゝ顏をしたり甘い味を吸つたりすると危い◎外で飛び廻るもの〻仕事は他の眼を惹き易いため彼の人は働き手だの手腕家だの精力家だといふが必ずしも然らずである◎內で靜かに働いて居るもの〻仕事は他の眼に觸れないので世間には餘り能く分らぬだらうが此の隱れた一種の力もこれを無視してはならぬ◎何事にも靜的と動的との二方面があり動靜相待つにあらざれば全きを得るものでない◎隱れたる力を認めよ寧ろその尊き力に敬意を拂へよ然らずんば社會は不具となるのみだ。



別天地の社會

白木秀刀

大陸の秋は早くも去らうとする。寂寥と靜閑の裡に、獨り燈下に眞理を看出すに相應しい時節、と云つた日が今しも去らうとする。『緋の衣驢馬に搖られて過ぎ行けりいつ暮るゝとも知らざる乙女』、など滿洲の秋を洒落て見たのも、それはもう遠い昔のやうに感じられる。さしして、名殘の冷たい風が日に〳〵吹き運んで來て、寒い冬の日を思はせる。その或る一日、

『今日は風も少いし、小春日和といふ日柄だから、一ッ散策に出かけやうか』とYさんは云ふ。私は何處がよからうと考へた。娛樂機關の少い大連では、私等に相應しい、といへば、何だか高慢ちきではあるが、多少なりとも見學的な所を……と思つたからである。暫くして私は、

『さうですね、どうでせう、露天市場の寶物探索にでも行きませうか』

Yさんは一も二もなく贊成してくれた、で、二人は直ぐさま馬車を驅つて露天市場へ行くことにした軟やかな午後の陽は半照にかゞやき、それが街路樹の落葉に映えて、美くしい一ときの縞を描いてゐる

もう寒い日がくるんだナ……と思つた。

『呀！露天市場だ！』

『什麼、小崗子小盜兒市場ァ』

この馬車呀、頭の惡い奴とみえて、小盜兒市場を殊に大聲で叫ぶ。

二三の紳士らしい人々が電車を待ち合せると見えて、車上の二人を眼鏡越しに、しかも皮肉な顏容で覗き見るやうな氣持ちがする。それでもこの馬車呀は遠慮會釋もなく『小盜兒市場ァ』を大聲で連發する小盜兒市場、斯う聞かされた私は、Ｙさんの髯に對して、何となく濟まないやうな、又氣恥しいやうな云ひ知れない擽つたい思ひをさせられた。

馬車は漸く驅け出した。

砂塵濛々といつた中を、風に吹きつけられながら、二人はやがて露天市場に着いた。

赤い煉瓦に取圍まれたやうな露天市場、煤煙と黃塵の裡の別天地、異臭と抑えつけられるやうな人いきれのする別世界、この小天地が年々發展して行く、さうして日本の人たちを比較的多くお客に牽き寄せる、日本の商人を驅逐する、と云ふことを思へば、一驚に値ひする。

Ｙさんは微笑しながら

『立派な一ッの社會だよ』と云ふ。

家屋は完全とまては云へないが、肅王家の手によつて幾分改築されてから、割合ひ恰好よくなつてゐる。二人は先づ兩側にある鍛冶屋を見て歩く。半裸體の支那人たちは鐵槌の音たかく唸らせてゐる。午下りの光線に紫色の煙がいやに臭つて來る。煤煙に燻ぶつたドス黑い顔と手、他にはいゝ氣持を與えないが、彼等は一向平氣でゐる。その黑い手で黑ばんだ口に何かを食べてゐる。五ッか六ッになる女の小孩が、大きな洗面器に汚れた水を運んで來て、それを急いで食臺の上にあげると、その赤い衣を着た小孩は、どうした拍子にか洗面器をひつくり返へした。食臺の食べ物は水に浸つた。時ならぬ洪水とふ光景だ。それでも平氣で彼等は食べつゞけでてゐる。

『まア何といふ穢さであらう』と私等には思はせる。しかし、彼等は斯うしたことには目もくれず、食を終ると、再び彼等は、ハンマアを手に汗となつて働く。

こんな事を見ながらYさんと私は更に步を續ける。今度は左へ曲らうとすると、そこには理髮屋があつて、看板に『朝陽取耳、清水洗頭』と支那文字が記されてゐる。何でも此の言葉は床屋の象徴ださうなと思つて見ると、『美髮、耳さうじ』など硝子に大書してある。

Yさんが、笑ひこけながら『美髮でもあるまい、醜髮ぢや』と皮肉る。私も笑つた。

『見るところ支那人ばかりで日本人は見えないやうだね』とYさんが尋ねる。

『最う少し先へ行くと澤山見えます、今日は日曜日なので、いつもより多いでしやう』と、私は答へる

そして左を折れると案の定日本人の姿が見える。丸髷の奥さんも居る。若い娘さんも來てゐる。男も歩いてゐる。『ア、大分買物にやつて來るなア』とちよつとYさん驚かされた樣子。

あちこちと見歩いてから、二人はとある骨董屋みたいな店に吸ひ込まれて、そこでYさん甕（かめ）の小さいのを二ッ見付けた。私が値段を聞くと、

『二ッで、七十錢……』

『安いね』とYさん云ふ。で手にとつてみると、瀨戸であつた。

『ハヽン、安いも道理』てな調子で、店を出る。Yさん一杯喰はされたやうな顏容で、

『堀出物なんて見當りはしないね』と云ひながら更に前と同じやうな店に入る。

Yさんまた何かを見つけた。それは中ぐらゐの珠を連ねた手頃の珠數であつた。その珠數は勿論古ぼけてゐて珠も切れ〴〵に滿足のものではないやうに見えた。値段を訊くと『八十錢』とは吹きも吹いたり私は『看外國人多要錢』（外國人と見たら高値を吹き掛ける）と聞いてゐるので、半分位に値切つて見たが、Yさんの風采に惚れ込んだのか、一文も負けぬと云ふ。えゝ儘よと二人はそゝくさ飛び出した。店のものは呼び歸さうとしてゐたが、店を出るなり、Yさんの胸には珠數は消えてしまつてゐた。店の者には惜しいチャンスだつたらうになア、と私は思つてもみたりした。

ある家の奥さんらしい人の話。隣りの妻君が履いてゐるフエルト草履が、ある家の奥さんが持つてゐ

た草履と寸分も違はぬところから、それとなく訊いて見ると、隣りの妻君はその日、それをこの露天市場で買つたと云ふのであつた、然るにある家の奥さんは、前日玄關先でそれを小盜兒に失敬されたものであつた、と云ふことが分つたさうだ。そんな話しが頭に浮んで、小盜兒市場のいはれ因緣を思ふと共に、私も『堀出物を……』といふ好奇心に驅られてゐたのだが、今では殆んどこの露天市場は日本人の客で占められてゐる、と云つても强ち云ひ過ぎでもないやうに思はれる。大連の日陰町や盤城町がこの頃淋しくなつたのも此の露天市場の影響ではなからう？

泥棒された物のみが列べられる、と云つたのは、大分以前のことで、實際はそれ程のこともなく、大部分はやはり屑屋の手から買はれて來たものを陳列して居るので、時々堀出物もあると云ふ。この市場の路次をさまよふ邦人同志は、何だか互ひにきまり惡さうな格恰をしてゐるが、何も恥しい事はないではないか。と云つた所で特に買ひたいと思ふやうな代物はなかなか見當らない。口の缺げた土瓶や、お尻の拔けた洋服や、胴のあたりの破れた煖爐では、とんとお話にもならない。然し全然古物ばかりでもないやうであつた。兎も角、古物承知で買ふ氣なら、まことに便利なもので、値段も相當安いから、大いに利用してもいゝと、Yさんも私も同じやうなことを話しながら歩いた。

冷たい風がうすら流れて行く。海岸の工場からは力なさゝうな汽笛がひゞく。おほかた大連着であらう。列車の警鐘が微かに聞えてくる。露天市場は支那貧乏商人の集合場所と云はゞ云へ、彼等は割箸の

一本でも木屑の一きれでも拾ひ集めてその日の糧にしやうとする。何處へ行つても支那人の心とその社會相とは一種のねばり氣を有つてゐるやうに見える。

Ｙさんと私の後方から若い日本人の男女が來る。よく見るとそれは今大連劇場に開演してゐるオペラの俳優とわかつた。彼等がどうして此の蒜臭い小天地を歩き廻るのか知ら……。

Ｙさんはやがて私に云ふ、『支那の社會相は、見れば見るほど味があり、内面的に考へれば考へるほど我等に何等かの暗示を與へるやうだ』

私もさう思つた。心からほんとうに……。それから二人は小さな空地に出る。此處には埃まみれの机の上に筮竹や易書を置いた占卦者もゐる。迷信の深い支那人のことゆえ、この路傍易者も、また卦館も繁昌してゐる。その傍らに香具師の義齒屋が居る。金銀？の入齒を列べて盛んに人を呼び立てる。Ｙさんと私が行つて見ると『入齒をしないか』と愛想よく勸める。Ｙさん笑つてニコ〱してゐる。その面には隣人的愛情が充ち滿ちてゐた。しかしＹさん體よく斥けた。日本で云ふ居合ひ拔きと云つたやうな具合で、大袈裟な支那の槍や刀などを自由自在に打揮つて、見物人をハラ〱させやうと云ふ大道藝人もゐる。一方には又五ッぐらゐの小さな女の兒に種々な藝をさせてゐるのがある。その兒等の藝を立見してゐる連中のなかに日本の婦人が二人ゐた。藝人の親爺は頻りにその婦人に對つて『あなた方は藝を見たのだからアノ小孩等にいくらか惠んで下さい』と云つてゐるやうだつた。二婦人はウンと云つた調

子で默つて見てゐる。二婦人よいくらか呉れてやれ！と私は心の中で思つたが、Yさんが先に行くので私はその後を追ふて行つた。するとそこには前世紀の遺物たる掛大書兒（覗きからくり）がある。一回銅貨一枚といふ安い觀覧料。それがまたYさんに『見なさい』と勸める。

『見る氣もしないね』とYさんは私に云ふ。支那の掛大書兒には隨分きわどいものを御覧に入れるのがあるさうなが、大連では、お膝元だけに除かれてゐるさうだ。

まばらな赤土が歩くたびに埃になつて濛々と舞ひあがる。道端に荷を卸してゐる果實物も埃だらけになつてゐる。こゝばかりは埃まみれの果實物も心配御無用といつた風だ。例の抽籤子（竹筒に筮竹やうのものを入れたもの）さへあれば、埃まみれの果實物とても風は引かない。何しろ、支那人は賭事を好むので、その抽籤子で、運ためしさへすれば駄菓子でも果實でも賣れて行く。で、商人は博奕道具持參で商ひせねばならぬ、といふ有樣だ。そのほかトランプや茶碗と賽ころでやつて居るのもある。こゝばかりは法度外の治外法權地で、天下晴れて公々然としかも白晝行はれてゐるのだから驚く。彼等にはまた暗面に美しいイヤ見にくゝ咲く花が待つてゐる。

ありと凡らゆるものを蒐めたこゝ露天市場は支那人の歡樂境である。私のやうなプロレタリアにとつては便利な百貨店？とでも云はふか。但し古物ではあるが……。

Yさんは一々熱心に、しかも愛に充ちた微笑をもつて、研究的に見て行かれる。Yさんに私は云つた

『支那を視察するものは、自動車から降りて、こんな所を見なければ駄目ですね』と。

『さうだとも……』とYさんは大きく頷いた。出口に來ると、差渡された一本の木の上で、足を縛られた小鳥が囀つてゐる。その小鳥の足下にはなよやかな夕陽が照り映えてゐる。

『見學をした……』とYさんは微笑まれた。案内した私もうれしく感じた。

『この市場の衞生施設をもつと完全にして欲しいなア』など思ひながら、二人は小崗子へ歩をつゞけた小崗子へ行く途中フト二人の眼に止つたものがあつた。それはその人集りを相手に露西亞人二名が靴下類の商品を路傍に商つてゐる事であつた。一人は若い青年で一人は白髯の老人である。二人とも一見卑しからぬ風格を備へてゐた。勿論生きんがための努力であるとは云へ、その眞劍味を想ふとき、更に意外の感に打たれるではない乎。文化生活や享樂生活に溺れてゐる現代の日本人には眞似の出來ないことだ。さうも思つてみた。しかし『出來ないことだ』では濟まされない。この白系露人のやうに覺悟すれば、支那人とも伍して小商ひもされ、勞働も出來る筈だ。一燈園の奉仕的無賃勞働にまで身を落し、そしてさらに信念を堅めたならば、出來ないことはあるまい。

そんなことを心から考へてゐるとき、Yさんは左側の書店へ私を連れて行つた。何かいゝ支那の書籍でも求める心算らしい。けれどもYさんの氣に入つた本はとんと見附からなかつた。二人はやがてT氏を訪ふべく道を左に折れたとき

『チャン〳〵』の警鐘。火事だ。人々は狼狽てゝ戸外に飛び出す。見ると黒煙濛々と天に冲してゐる。物見高い支那人は、Yさんと私を拉つて行くかのやうに、雪崩を打つて火事場に驅けつけて行く晴天の霹靂。なんといふ社會相であらう。

『火事は間近だ、しかし我々は逆行しやう』とYさんが云ふので、私等二人は群衆と反對に悠々歩をつづけて行つた。ガソリンポンプがけたゝましく飛んで行く。續いて警官が自轉車で走る。騎馬巡査も飛ぶ。電車がベルの音喧ましく軋る。群衆がぞろ〳〵續く。あゝ平和の巷は斯くして修羅場に化してしまひさう。火のつくやうな勢ひ、何といふ凄まじい情況であらう。でもYさんと私は歩いてゐる。やつと二人がT氏のゐるH老人の家の前に行くと、H老人は扉を兩手で押開けて火事のある方角を不安さうに視てゐたが、Yさんの顏を見ると愛想よく笑つて一禮した。併し老人の不安は去らなかつた。それは今燃えつゝある方面の近くに老人所有の工場があるからであらう。

やがて火事は下火になつて、不安さうな老人の顏にやゝ晴やかさが見えて來た、そして『さアどうぞ、こちらへ……』と老人は愛想よく二人を請じ入れた。さうして居るうち、誰かゞ『工場無事』の報をもたらしたので、老人は益々安堵したらしい。

それからYさんとH老人の話はにこやかに續いて行つた。

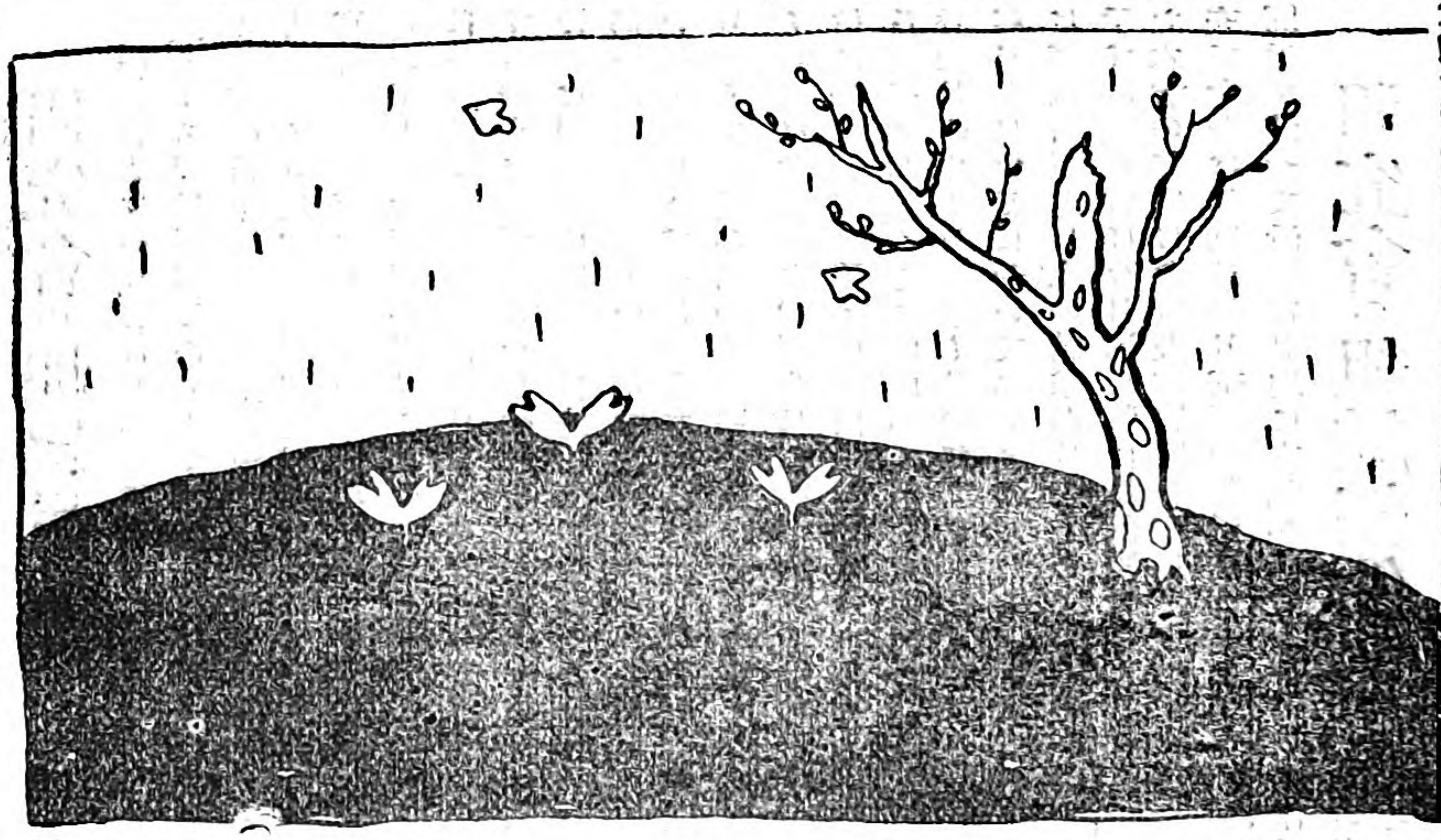
『小崗子は將來どう發展しますか、日本人の住居はどうです』と、Yさんは訊ねた。老人は建築家で

あるだけその方面のことは可成に明るい樣であつた。Yさんの問に對して、『何しろ、近頃では、支那人は日本人に家を貸さなくなりましてねえ』と、冒頭して、二十年も前の事から今日までの事を、一々事實によつて、事細かに語つた。

Yさんは後で言つた。『それは、日本人のうちに家賃を踏みたほしたりする者があるからでもあらうが併しよく考へてみると、それは日支人双互の風俗習慣の相違が根本原因であらうと思ふ。日本人はいかに外部が洋風になつてゐる家にでも疊を敷き、床の間を作り、窓を付ける。それが支那人の習慣と相容れないため、支那人はそれを嫌つて、日本人に家を貸さないのであらう。それと今一つは、支那人には元來妙な排外思想があつて、そのうへ利己的民族であるから、この排外思想と利己心のためにも日本人に家を貸さぬのであらう。さうすると必ずしも日本人が惡いため計りではない』と。

Yさんと私は、差出された茶を啜りながら、尚ほいろ〳〵と話しをして、やがてH老人の家を出たのは午後六時頃でもあつたらうか。

いつか陽は落ちて、街路樹の根にも、早や宵闇がせまらうとして居る。家路をいそぐ人々をのせた電車の軋る音が聞える。街頭の灯が桃色にまたゝいて美しい。（完）



十四年も暮れる

野邊に雨そゝげり磯に雪降れり色褪せて、山は靜かに閉ぢぬ冬の日の寂しさ！その底にかゞやく星影も刄鐵のやうに冷て、街の灯はあかく凍つてゐるその風の囁きさへ輓歌のやうにひゞいて淋しい……そして、一つ〳〵に、今年もやがて、暮れるのか。

赤い屋根も雪に埋れろ、街上に亂舞する孔雀の人形よ家にかへれ。俺は赤裸々に云ふ。ハンカチーフ、足袋と腰卷さへ洗濯しきれない人形よ家にかへれ、と。それが滿洲の生人形と聞いたとき、雪よ、もつと降れ、うもれてしまへだ。お米がいくらするか知つてるだらうか、さア……内容のない生活！まア何と云ふ話である……。

ともあれ、いさぎよく屑籠に葬つてしまはふ。新らしき年をむかふるために。雪とけて、朝日さす狹霧の晴れたその中から、美しい旋律と諧和とをもつて、高尚な精神を吹きさます瀏喨喇叭の音を待たう。そのとき雪よ解けてくれ、そのとき人形もぱつちり目をひらくだらう。十四年をおくる。たつたこれだけで……。（一九二五、一二、秀刀生）

研究會の趣旨目的

滿洲社會事業研究會は其の名稱の如く研究を主とする間接機關でありますが研究と共にその研究の結果を發表し講演會その他の集會をも催ふし宣傳、鼓吹、報道、論評と相待つて實行促進に努力しますから直接に自ら實行しないでも漸次實行を促すことになります場合に依り又事業の性質によりては本會自ら實行するやうな事があるかも知れませんが本來の使命は間接的に助長、發達、進歩を計り社會問題に對する正しい理解力を一般に普及したいのであります夫れから本會は會員組織でありまして會員を別つて贊助員及び普通會員とし役員は會長一名、副會長二名、幹事長一名竝に幹事若干名で外に顧問、相談役及び評議員若干名を置くことに成つて居ます評議員は贊助員の中より選擧し其の任期は二年です評議員會は會長において必要と認めたるとき又は評議員五名以上の請求ありたるとき開くのです評議員會は今日迄に既に拾餘回開きました本會の經費は會費及び寄附金を以てこれに充て會費は贊助員毎月貳圓、普通會員同上壹圓です追つて沿線重要地に支部を設けます。

研究會の組織綱領

◎上海事件に關する報告……　滿鐵會社庶務部調查課

◎支那の關稅會議と其對策……

大倉高等商業學校の東亞事業研究會より發行せられたるものにて會長木村增太郎氏の記述に係る好箇の出版物なり

○○○○○○○○○○

◎授産事業に關する調査……　東京、東京市社會局發行

○○○○○○○○○○

◎釋放者保護問題調査報告……　財團法人中央社會事業協會

◉滿洲日日新聞、遼東新報、大連新聞、日滿通信、地方經營(滿鐵地方部庶務課)、大陸青年、滿蒙、南滿教育、讀書會雜誌、海友、調査時報(滿鐵調査課)、滿洲建築協會雜誌、極東、滿洲技術協會雜誌、支那研究、滿洲公論、無上道、聖德、滿洲經濟時報、關東新聞(以上大連)◉警察彙報(關東廳警務局)◉大陸日日新聞、奉天每日新聞(奉天)◉調査彙報(長春商議所)調査時報(滿鐵哈爾賓事務所)◉大乘(上海)◉調査彙報(朝鮮總督府)、朝鮮地方行政、朝鮮及朝鮮人、京城日報(以上京城)◉臺灣時報、臺法月報(以上臺灣)◉都市問題(東京市政調査會)、社會事業(中央社會事業協會)、東洋、支那、愛國婦人、人道、婦人新報(以上東京)社會事業研究(大阪社會事業研究會)◉東亞經濟研究(山口)◉福岡日日新聞(福岡)

普通號六拾錢、特別號七拾錢

毎月一回發行

定價表

册數	定價	郵稅
三箇月分	壹圓九拾錢	五錢
半箇年分	參圓八拾錢	郵稅共
一箇年分	七圓五拾錢	郵稅共

▲半年分及壹年分には特別號を含む▲誌代は總て前金拂の事▲郵券代用は一割增

廣告料

等級	半頁	一頁
特等	四拾圓	八拾圓
一等	貳拾五圓	五拾圓
二等	拾五圓	參拾圓
三等	拾圓	貳拾圓

●三回以上は割引可仕候●年極めは特別に御相談可致候

●〆切りは前月二十日限り

大正十四年十二月一日發行

發行人　山田武吉

編輯人　大內四郎

印刷人　太田信三

印刷所　大連市大山通　小林又七支店

發行所(電話五四二六番)　滿洲社會事業研究會　大連市松山町五番地七號　振替口座大連一二三九番

大正十一年八月十五日第三種郵便物認可
大正十四年十二月[illegible]

人事

滿洲社會事業研究會

相談

重要目次